



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
曾於東部地区施設機能診断調査業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (機能診断作業)

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	*** S単ー 1号 *** 機能診断 線の構造物 (見積歩掛分)					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,671,911		歩A・単A
S63003	*** S単ー 2号 *** 機能診断 点的構造物 (見積歩掛分)					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,237,640		歩A・単A
S63003	*** S単ー 3号 *** 機能診断 点的構造物 (見積歩掛分)					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,088,760		歩A・単A
S63007	*** S単ー 4号 *** パイプライン (業務準備) 基準日額					
	設計労務(直接人件費外業)		式	175,000		歩A・単A
S63007	*** S単ー 5号 *** 調整池・F P (業務準備) 基準日額					
	設計労務(直接人件費外業)		式	175,000		歩A・単A
S63010	*** S単ー 6号 *** 打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.55日		回	132,825		歩A・単A
S63010	*** S単ー 7号 *** 打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.55日		回	113,505		歩A・単A
S63011	*** S単ー 8号 *** 打合せ (設計旅費・交通費)					
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間		回	10,400		歩A・単A
S63011	*** S単ー 9号 *** 打合せ (設計旅費・交通費)					
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間		回	10,400		歩A・単A
S63017	*** S単ー 10号 *** 旅費交通費 (パイプライン業務準備)					
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン,1.00日,2日,3時間		式	13,234		歩A・単A
S63017	*** S単ー 11号 *** 旅費交通費 (調整池・F P業務準備)					
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン,1.00日,2日,3時間		式	13,234		歩A・単A
S63024	*** S単ー 12号 *** 業務報告書作成 (その他)					
	業務報告書作成 (その他) 1, Aー4以下,500,1, Aー4以下,厚手 (金文字入)		式	12,920		歩A・単A
S65501	*** S単ー 13号 *** 機能診断 線の構造物 (標準歩掛分)					
	機能診断 線の構造物 5.769km,パイプライン		式	2,904,325		歩A・単A
S65502	*** S単ー 14号 *** 機能診断 点的構造物					
	機能診断 点的構造物 1箇所,機場		式	1,034,820		歩A・単A
T00001	*** T単ー 1号 *** 機能診断 線の構造物 (見積歩掛分)					
	5.769kmパイプライン (バルブ含む)		式	1,671,911		歩A・単A
T00002	*** T単ー 2号 *** 機能診断 点的構造物 (標準歩掛分)					
	石之脇調整池		式	1,034,820		歩A・単A
T00003	*** T単ー 3号 *** 機能診断 点的構造物 (見積歩掛分)					
	石之脇調整池		式	1,237,640		歩A・単A
T00004	*** T単ー 4号 *** 機能診断 点的構造物 (標準歩掛分)					
	石之脇ファームpond		式	1,034,820		歩A・単A
T00005	*** T単ー 5号 *** 機能診断 点的構造物 (見積歩掛分)					
	石之脇ファームpond		式	1,088,760		歩A・単A
T00006	*** T単ー 6号 *** 機能診断 点的構造物 (標準歩掛分)					
	早馬ファームpond		式	1,034,820		歩A・単A
T00007	*** T単ー 7号 *** 機能診断 点的構造物 (見積歩掛分)					

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (機能診断作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S63003	機能診断 線的構造物 (見積歩掛分)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	6.56人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	12.37人				
	5)技師Bの人数	8.81人				
	6)技師Cの人数	1.70人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	6.560	人	66,900	438,864	
R04004	技師 (A)	12.370	人	59,600	737,252	
R04005	技師 (B)	8.810	人	48,500	427,285	
R04006	技師 (C)	1.700	人	40,300	68,510	
	合 計				1,671,911	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,671,911	
	*** S単一 2号 ***					
S63003	機能診断 点的構造物 (見積歩掛分)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.60人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	7.50人				
	5)技師Bの人数	4.90人				
	6)技師Cの人数	4.70人				
	7)技術員の数	3.40人				
R04003	主任技師	3.600	人	66,900	240,840	
R04004	技師 (A)	7.500	人	59,600	447,000	
R04005	技師 (B)	4.900	人	48,500	237,650	
R04006	技師 (C)	4.700	人	40,300	189,410	
R04007	技術員	3.400	人	36,100	122,740	
	合 計				1,237,640	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,237,640	
	*** S単一 3号 ***					
S63003	機能診断 点的構造物 (見積歩掛分)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.80人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.90人				
	5)技師Bの人数	4.90人				
	6)技師Cの人数	4.70人				
	7)技術員の数	3.40人				
R04003	主任技師	2.800	人	66,900	187,320	
R04004	技師 (A)	5.900	人	59,600	351,640	
R04005	技師 (B)	4.900	人	48,500	237,650	
R04006	技師 (C)	4.700	人	40,300	189,410	
R04007	技術員	3.400	人	36,100	122,740	
	合 計				1,088,760	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,088,760	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務				

業務別業務名: 曾於東部地区施設機能診断調査業務 (機能診断作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 4号 ***					
S63007	パイプライン (業務準備) 基準日額		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	1.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	1.00 人				
	5) 技師 B の人数	1.00 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04003	主任技師 外業	1,000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 (A) 外業	1,000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B) 外業	1,000	人	48,500	48,500	
	合 計				175,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		175,000	
	*** S単ー 5号 ***					
S63007	調整池・F P (業務準備) 基準日額		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	1.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	1.00 人				
	5) 技師 B の人数	1.00 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04003	主任技師 外業	1,000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 (A) 外業	1,000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B) 外業	1,000	人	48,500	48,500	
	合 計				175,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		175,000	
	*** S単ー 6号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	一般工種, 着手前・最終, 1.00 人, 1.00 人, 0.00 人, 0.00 人, 0.5 日, 0.55 日			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	日			深夜時間: 0.0		
	1) 設計工種	一般工種				
	2) 打合せ	着手前・最終				
	3) 設計用主任技師人数	1.00 人				
	4) 設計用技師 (A) 人数	1.00 人				
	5) 設計用技師 (B) 人数	0.00 人				
	6) 設計用技師 (C) 人数	0.00 人				
	7) 打合せ日数	0.500 日				
	8) 往復移動日数	0.550 日				
R04003	主任技師	1,050	人	66,900	70,245	
R04004	技師 (A)	1,050	人	59,600	62,580	
	合 計				132,825	算出数量 1,000 回
	単 価		回		132,825	
	*** S単ー 7号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	一般工種, 中間, 0.00 人, 1.00 人, 1.00 人, 0.00 人, 0.5 日, 0.55 日					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務				

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (機能診断作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.550日				
R04004	技師 (A)					
		1.050	人	59,600	62,580	
R04005	技師 (B)					
		1.050	人	48,500	50,925	
	合 計				113,505	算出数量 1.000 回
	単 価		回		113,505	
	*** S単ー 8号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.55日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	12)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン ガソリンエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				10,400	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,400	
	*** S単ー 9号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.55日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	12)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務				

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (機能診断作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				10,400	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,400	
	*** S単ー 10号 ***					
S63017	旅費交通費 (パイプライン業務準備)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	ライトバン, 1.00日, 2日, 3時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 交通機関区分	ライトバン				
	2) 高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	3) 鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	4) バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円		深夜時間:0.0		
	5) 船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6) 航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7) 往復移動日数	1.00日				
	8) ライトバン使用日数	2日				
	9) 時間区分	3時間				
	10) 技師長外業日数	0.000日				
	11) 主任技師外業日数	1.890日				
	12) 技師A外業日数	2.460日				
	13) 技師B外業日数	2.210日				
	14) 技師C外業日数	0.000日				
	15) 技術員外業日数	0.000日				
	16) 宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	17) 宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	16.200	L	162	2,624	
	合 計				13,234	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,234	
	*** S単ー 11号 ***					
S63017	旅費交通費 (調整池・F P業務準備)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	ライトバン, 1.00日, 2日, 3時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 交通機関区分	ライトバン				
	2) 高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	3) 鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4) バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	5) 船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6) 航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7) 往復移動日数	1.00日				
	8) ライトバン使用日数	2日				
	9) 時間区分	3時間				
	10) 技師長外業日数	0.000日				
	11) 主任技師外業日数	1.170日				
	12) 技師A外業日数	1.950日				
	13) 技師B外業日数	1.800日				
	14) 技師C外業日数	0.000日				
	15) 技術員外業日数	0.000日				
	16) 宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	17) 宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	16.200	L	162	2,624	
	合 計				13,234	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,234	
	*** S単ー 12号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務				

業務別業務名: 曾於東部地区施設機能診断調査業務 (機能診断作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63024	業務報告書作成 (その他)		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	業務報告書作成 (その他)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1. A 4 以下, 500, 1. A 4 以下, 厚手 (金文字入)			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 報告書焼付部数 (部)	1		深夜時間: 0.0		
	2) 報告書規格区分	A 4 以下				
	3) 原稿枚数区分 (枚)	500				
	4) 表紙部数 (部)	1				
	5) 表紙規格区分	A 4 以下				
	6) 表紙区分	厚手 (金文字入)				
P43422	報告書焼付代 (コピー)					
	A 4 以下 500 枚	1,000	部	6,750	6,750	
P43450	報告書表紙代					
	厚手 (金文字入) A 4	1,000	部	6,170	6,170	
	合 計				12,920	算出数量 1,000 式
	単 価		式		12,920	
	*** S 単一 13号 ***					
S65501	機能診断 線の構造物 (標準歩掛分)		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	機能診断 線の構造物			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	5.769km, バイブライン			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計対象延長	5.769km		深夜時間: 0.0		
	2) 対象工種	バイブライン				
	3) 1. 業務準備	計上する				
	4) 2-1. 事前調査資料調査	計上する				
	5) 2. 事前調査問診調査	計上する				
	6) 3. 施設機能の検討	計上する				
	7) 4. 施設の影響度評価	計上しない				
	8) 5. 性能低下要因の推定	計上する				
	11) 10. 健全度評価	計上する				
	12) 11. 性能低下予測	計上する				
	14) 13. 機能保全対策の検討	計上する				
	15) 14. 機能保全コストの算定	計上する				
	16) 15. 機能保全計画の策定	計上する				
	17) 16. 農業水利ストック情報データ入力・登録	計上する				
	18) 17. 点検取りまとめ	計上しない				
	19) 1 個別補正業務準備	1.00				
	20) 2 1 個別補正資料調査	1.00				
	21) 2 2 個別補正問診調査	1.00				
	22) 3 個別補正施設機能の検討	1.00				
	23) 4 個別補正施設の影響度評価	1.00				
	24) 5 個別補正性能低下要因の推定	1.00				
	25) 6 個別補正水利・水理機能検討	1.00				
	26) 9 個別補正詳細調査計画立案	1.00				
	27) 10 個別補正健全度評価	1.00				
	28) 11 個別補正性能低下予測	1.00				
	29) 12 個別補正管理水準の設定	1.00				
	30) 13 個別補正機能保全対策の検討	1.00				
	31) 14 個別補正機能保全コストの算定	1.00				
	32) 15 個別補正機能保全計画の策定	1.00				
	33) 16 個別補正ストック情報データ入力・登録	1.00				
	34) 17 個別補正点検取りまとめ	1.00				
R04003	主任技師					
	内業	7.210	人	66,900	482,349	
R04004	技師 (A)					
	内業	17.860	人	59,600	1,064,456	
R04005	技師 (B)					
	内業	19.390	人	48,500	940,415	
R04006	技師 (C)					
	内業	10.350	人	40,300	417,105	
	合 計				2,904,325	算出数量 1,000 式
	単 価		式		2,904,325	
	*** S 単一 14号 ***					
S65502	機能診断 点的構造物		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	機能診断 点的構造物			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1箇所, 機場			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計対象施設数	1箇所		深夜時間: 0.0		
	2) 対象工種	機場				
	3) 1. 業務準備	計上する				
	4) 2-1. 事前調査資料調査	計上する				
	5) 2. 事前調査問診調査	計上する				
	6) 3. 施設機能の検討	計上する				
	7) 5. 性能低下要因の推定	計上する				
	8) 10. 健全度評価	計上しない				

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (機能診断作業)

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単一 1号 ***					
T00001	機能診断 線の構造物 (見積歩掛分)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	5.769kmパイプライン (バルブ含む)					
S63003	機能診断 線の構造物 (見積歩掛分)	1,000	式	1,671,911	1,671,911	S単 1号 算出数量 1,000 式
	合 計				1,671,911	
	単 価		式		1,671,911	
	*** T単一 2号 ***					
T00002	機能診断 点の構造物 (標準歩掛分)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	石之脇調整池					
S65502	機能診断 点の構造物 1箇所, 機場	1,000	式	1,034,820	1,034,820	S単 14号 算出数量 1,000 式
	合 計				1,034,820	
	単 価		式		1,034,820	
	*** T単一 3号 ***					
T00003	機能診断 点の構造物 (見積歩掛分)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	石之脇調整池					
S63003	機能診断 点の構造物 (見積歩掛分)	1,000	式	1,237,640	1,237,640	S単 2号 算出数量 1,000 式
	合 計				1,237,640	
	単 価		式		1,237,640	
	*** T単 4号 ***					
T00004	機能診断 点の構造物 (標準歩掛分)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	石之脇ファームpond					
S65502	機能診断 点の構造物 1箇所, 機場	1,000	式	1,034,820	1,034,820	S単 14号 算出数量 1,000 式
	合 計				1,034,820	
	単 価		式		1,034,820	
	*** T単一 5号 ***					
T00005	機能診断 点の構造物 (見積歩掛分)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	石之脇ファームpond					
S63003	機能診断 点の構造物 (見積歩掛分)	1,000	式	1,088,760	1,088,760	S単 3号 算出数量 1,000 式
	合 計				1,088,760	
	単 価		式		1,088,760	
	*** T単 6号 ***					
T00006	機能診断 点の構造物 (標準歩掛分)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	早馬ファームpond					
S65502	機能診断 点の構造物 1箇所, 機場	1,000	式	1,034,820	1,034,820	S単 14号 算出数量 1,000 式
	合 計				1,034,820	
	単 価		式		1,034,820	
	*** T単一 7号 ***					

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務(現地調査作業)

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接人件費～機械経費				4,312,000	
・直接人件費～機械経費	1.000	式		4,312,000	
・ ・ 直接人件費～機械経費	1.000	式		4,312,000	
・ ・ ・ 直接人件費～機械経費 パイプライン	1.000	式	2,020,000	2,020,000	1 式当たり
T00001 現地踏査 パイプライン	5.769	km	36,843	212,547	歩A・単A T単 1号
T00002 概略診断評価【バルブ類】 パイプライン	32.000	箇所	50,184	1,605,888	歩A・単A T単 2号
S65002 近接目視 線の構造物,129㎡	1.000	式	100,982	100,982	歩A・単A S単 13号
S65003 コンクリート強度推定調査	6.000	測点	4,202	25,212	歩A・単A S単 18号
S65004 鉄筋調査	6.000	箇所	3,973	23,838	歩A・単A S単 19号
S65009 中性化深さ試験(ドリル法)	6.000	箇所	8,510	51,060	歩A・単A S単 20号
合 計				2,019,527	
・ ・ ・ 直接人件費～機械経費 石之脇調整池(土木構造物)	1.000	式	240,000	240,000	1 式当たり
T00003 現地踏査(付帯構造物含む) 石之脇調整池	1.000	箇所	64,452	64,452	歩A・単A T単 3号
S65002 近接目視 点的構造物,314㎡	1.000	式	108,850	108,850	歩A・単A S単 14号
S65003 コンクリート強度推定調査	4.000	測点	4,202	16,808	歩A・単A S単 18号
S65004 鉄筋調査	4.000	箇所	3,973	15,892	歩A・単A S単 19号
S65009 中性化深さ試験(ドリル法)	4.000	箇所	8,510	34,040	歩A・単A S単 20号
合 計				240,042	
・ ・ ・ 直接人件費～機械経費 石之脇調整池(付帯構造物)	1.000	式	574,000	574,000	1 式当たり
T00004 概略診断評価【バルブ類】 石之脇調整池	8.000	箇所	50,184	401,472	歩A・単A T単 4号
S65002 近接目視 点的構造物,276㎡	1.000	式	106,227	106,227	歩A・単A S単 15号
S65003 コンクリート強度推定調査	4.000	測点	4,202	16,808	歩A・単A S単 18号
S65004 鉄筋調査	4.000	箇所	3,973	15,892	歩A・単A S単 19号
S65009 中性化深さ試験(ドリル法)	4.000	箇所	8,510	34,040	歩A・単A S単 20号
合 計				574,439	
・ ・ ・ 直接人件費～機械経費 石之脇ファームpond	1.000	式	231,000	231,000	1 式当たり
T00005 現地踏査 石之脇ファームpond	1.000	箇所	64,452	64,452	歩A・単A T単 5号
S65002 近接目視 点的構造物,203㎡	1.000	式	99,670	99,670	歩A・単A S単 16号
S65003 コンクリート強度推定調査	4.000	測点	4,202	16,808	歩A・単A S単 18号
S65004 鉄筋調査	4.000	箇所	3,973	15,892	歩A・単A S単 19号
S65009 中性化深さ試験(ドリル法)	4.000	箇所	8,510	34,040	歩A・単A S単 20号
合 計				230,862	
・ ・ ・ 直接人件費～機械経費 早馬ファームpond	1.000	式	607,000	607,000	1 式当たり
T00006 現地踏査 早馬ファームpond	1.000	箇所	64,452	64,452	歩A・単A T単 6号
S65002 近接目視 点的構造物,2,177㎡	1.000	式	476,056	476,056	歩A・単A S単 17号
S65003 コンクリート強度推定調査	4.000	測点	4,202	16,808	歩A・単A S単 18号
S65004 鉄筋調査	4.000	箇所	3,973	15,892	歩A・単A S単 19号
S65009 中性化深さ試験(ドリル法)	4.000	箇所	8,510	34,040	歩A・単A S単 20号
合 計				607,248	

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名: 曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63007	*** S単ー 1号 *** 現地踏査 (パイプライン)					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	360,500		歩A・単A
S63007	*** S単ー 2号 *** 概略診断評価【バルブ類】					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	40,800		歩A・単A
S63007	*** S単ー 3号 *** 現地踏査 (付帯構造物含む)					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	63,250		歩A・単A
S63007	*** S単ー 4号 *** 現地踏査					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	63,250		歩A・単A
S63007	*** S単ー 5号 *** パイプライン (現地踏査) 基準日額					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	144,200		歩A・単A
S63007	*** S単ー 6号 *** パイプライン (概略診断等現地調査) 基準日額					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	184,500		歩A・単A
S63007	*** S単ー 7号 *** 調整池・ファームpond (現地踏査) 基準日額					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	126,500		歩A・単A
S63007	*** S単ー 8号 *** 調整池・ファームpond (現地調査) 基準日額					
	設計労務 (直接人件費外業)		式	184,500		歩A・単A
S63017	*** S単ー 9号 *** パイプライン (現地踏査)					
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン, 1.00日, 2日, 3時間		式	13,234		歩A・単A
S63017	*** S単ー 10号 *** パイプライン (概略診断等現地調査)					
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン, 1.00日, 2日, 3時間		式	13,234		歩A・単A
S63017	*** S単ー 11号 *** 調整池・ファームpond (現地踏査)					
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン, 1.00日, 2日, 3時間		式	13,234		歩A・単A
S63017	*** S単ー 12号 *** 調整池・ファームpond (現地調査)					
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン, 1.00日, 2日, 3時間		式	13,234		歩A・単A
S65002	*** S単ー 13号 *** 近接目視					
	近接目視 線の構造物, 129㎡		式	100,982		歩A・単A
S65002	*** S単ー 14号 *** 近接目視					
	近接目視 点的構造物, 314㎡		式	108,850		歩A・単A
S65002	*** S単ー 15号 *** 近接目視					
	近接目視 点的構造物, 276㎡		式	106,227		歩A・単A
S65002	*** S単ー 16号 *** 近接目視					
	近接目視 点的構造物, 203㎡		式	99,670		歩A・単A
S65002	*** S単ー 17号 *** 近接目視					
	近接目視 点的構造物, 2,177㎡		式	476,056		歩A・単A
S65003	*** S単ー 18号 *** コンクリート強度推定調査					
	コンクリート強度推定調査		測点	4,202		歩A・単A
S65004	*** S単ー 19号 *** 鉄筋調査					
	鉄筋調査		箇所	3,973		歩A・単A
S65009	*** S単ー 20号 *** 中性化深さ試験 (ドリル法)					
	中性化深さ試験 (ドリル法)		箇所	8,510		歩A・単A
T00001	*** T単 1号 *** 現地踏査					
	パイプライン		km	36,843		歩A・単A

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名: 曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S63007	現地踏査 (パイプライン)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	2.50 人				
	5) 技師 B の人数	2.50 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	2.50 人				
R04004	技師 (A)					
	外業	2.500	人	59,600	149,000	
R04005	技師 (B)					
	外業	2.500	人	48,500	121,250	
R04007	技術員					
	外業	2.500	人	36,100	90,250	
	合 計				360,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		360,500	
	*** S単一 2号 ***					
S63007	概略診断評価【バルブ類】		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.30 人				
	5) 技師 B の人数	0.00 人				
	6) 技師 C の人数	0.30 人				
	7) 技術員 の人数	0.30 人				
R04004	技師 (A)					
	外業	0.300	人	59,600	17,880	
R04006	技師 (C)					
	外業	0.300	人	40,300	12,090	
R04007	技術員					
	外業	0.300	人	36,100	10,830	
	合 計				40,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		40,800	
	*** S単一 3号 ***					
S63007	現地踏査 (付帯構造物含む)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.50 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.50 人				
	5) 技師 B の人数	0.00 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04003	主任技師					
	外業	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師 (A)					
	外業	0.500	人	59,600	29,800	
	合 計				63,250	算出数量 1.000 式
	単 価		式		63,250	
	*** S単一 4号 ***					
S63007	現地踏査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.50 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.50 人				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	5) 技師Bの人数	0.00人				
	6) 技師Cの人数	0.00人				
	7) 技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師 (A)					
	外業	0.500	人	59,600	29,800	
	合 計				63,250	算出数量 1.000 式
	単 価		式		63,250	
	*** S単ー 5号 ***					
S63007	パイプライン (現地踏査) 基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4) 技師Aの人数	1.00人				
	5) 技師Bの人数	1.00人				
	6) 技師Cの人数	0.00人				
	7) 技術員の人数	1.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B)					
	外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04007	技術員					
	外業	1.000	人	36,100	36,100	
	合 計				144,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		144,200	
	*** S単ー 6号 ***					
S63007	パイプライン (概略診断等現地調査) 基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4) 技師Aの人数	1.00人				
	5) 技師Bの人数	1.00人				
	6) 技師Cの人数	1.00人				
	7) 技術員の人数	1.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B)					
	外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 (C)					
	外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員					
	外業	1.000	人	36,100	36,100	
	合 計				184,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		184,500	
	*** S単 7号 ***					
S63007	調整池・ファームpond (現地踏査) 基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4) 技師Aの人数	1.00人				
	5) 技師Bの人数	0.00人				
	6) 技師Cの人数	0.00人				
	7) 技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 (A)					
	外業	1.000	人	59,600	59,600	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名: 曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				126,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		126,500	
	*** S 単 8号 ***					
S63007	調整池・ファームポンド (現地調査) 基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	1.00 人				
	5) 技師 B の人数	1.00 人				
	6) 技師 C の人数	1.00 人				
	7) 技術員の数	1.00 人				
R04004	技師 (A) 外業	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
	合 計				184,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		184,500	
	*** S 単 9号 ***					
S63017	パイプライン (現地踏査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン, 1.00 日, 2 日, 3 時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 交通機関区分	ライトバン		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 高速道路往復料金 (税別)	6,690 円		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0 円		深夜時間: 0.0		
	4) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0 円				
	5) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0 円				
	6) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0 円				
	7) 往復移動日数	1.00 日				
	8) ライトバン使用日数	2 日				
	9) 時間区分	3 時間				
	10) 技師長外業日数	0.000 日				
	11) 主任技師外業日数	0.000 日				
	12) 技師 A 外業日数	1.450 日				
	13) 技師 B 外業日数	1.450 日				
	14) 技師 C 外業日数	0.000 日				
	15) 技術員外業日数	1.450 日				
	16) 宿泊料金 1 人当料金 (税別)	0 円				
	17) 宿泊手当 1 人当料金 (税別)	0 円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員 5 名 排気量 1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	16.200	L	162	2,624	
	合 計				13,234	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,234	
	*** S 単 10号 ***					
S63017	パイプライン (概略診断等現地調査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン, 1.00 日, 2 日, 3 時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 交通機関区分	ライトバン		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 高速道路往復料金 (税別)	6,690 円		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0 円		深夜時間: 0.0		
	4) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0 円				
	5) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0 円				
	6) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0 円				
	7) 往復移動日数	1.00 日				
	8) ライトバン使用日数	2 日				
	9) 時間区分	3 時間				
	10) 技師長外業日数	0.000 日				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務				

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	11)主任技師外業日数	0.000日				
	12)技師A外業日数	9.600日				
	13)技師B外業日数	1.270日				
	14)技師C外業日数	11.410日				
	15)技術員外業日数	10.910日				
	16)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	17)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[カブサシエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	16.200	L	162	2,624	
	合 計				13,234	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,234	
	*** S単一 11号 ***					
S63017	調整池・ファームpond (現地踏査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	ライトバン,1.00日,2日,3時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)交通機関区分	ライトバン				
	2)高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	3)鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	4)バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7)往復移動日数	1.00日				
	8)ライトバン使用日数	2日				
	9)時間区分	3時間				
	10)技師長外業日数	0.000日				
	11)主任技師外業日数	1.500日				
	12)技師A外業日数	1.500日				
	13)技師B外業日数	0.000日				
	14)技師C外業日数	0.000日				
	15)技術員外業日数	0.000日				
	16)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	17)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[カブサシエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	16.200	L	162	2,624	
	合 計				13,234	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,234	
	*** S単一 12号 ***					
S63017	調整池・ファームpond (現地調査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	ライトバン,1.00日,2日,3時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)交通機関区分	ライトバン				
	2)高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	3)鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	4)バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7)往復移動日数	1.00日				
	8)ライトバン使用日数	2日				
	9)時間区分	3時間				
	10)技師長外業日数	0.000日				
	11)主任技師外業日数	0.000日				
	12)技師A外業日数	2.400日				
	13)技師B外業日数	5.660日				
	14)技師C外業日数	10.860日				
	15)技術員外業日数	10.860日				
	16)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	17)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[カブサシエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	16.200	L	162	2,624	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名: 曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				13,234	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,234	
	*** S 単 13号 ***					
S65002	近接目視		式		1.000	歩A 式 当たり算出
	近接目視 線の構造物, 129㎡			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 対象構造物 2) 作業対象面積	線の構造物 129㎡		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		124,900	3,747	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		124,900	2,498	
	合 計				131,145	算出数量 1.000 式
	単 価		式		100,982	
	*** S 単 14号 ***					
S65002	近接目視		式		1.000	歩A 式 当たり算出
	近接目視 点の構造物, 314㎡			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 対象構造物 2) 作業対象面積	点の構造物 314㎡		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		124,900	3,747	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		124,900	2,498	
	合 計				131,145	算出数量 1.000 式
	単 価		式		108,850	
	*** S 単 15号 ***					
S65002	近接目視		式		1.000	歩A 式 当たり算出
	近接目視 点の構造物, 276㎡			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 対象構造物 2) 作業対象面積	点の構造物 276㎡		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		124,900	3,747	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		124,900	2,498	
	合 計				131,145	算出数量 1.000 式
	単 価		式		106,227	
	*** S 単 16号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務				

業務別業務名: 曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S65002	近接目視		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	近接目視 点的構造物, 203㎡			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 対象構造物 2) 作業対象面積	点的構造物 203㎡		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		124,900	3,747	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		124,900	2,498	
	合 計				131,145	算出数量 1.000 式
	単 価		式		99,670	
	*** S単- 17号 ***					
S65002	近接目視		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	近接目視 点的構造物, 2,177㎡			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 対象構造物 2) 作業対象面積	点的構造物 2,177㎡		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		124,900	3,747	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		124,900	2,498	
	合 計				131,145	算出数量 1.000 式
	単 価		式		476,056	
	*** S単- 18号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査		測点		1.000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 強度推定調査	計上する		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		76,400	7,640	
	合 計				84,040	算出数量 20.000 測点
	単 価		測点		4,202	
	*** S単- 19号 ***					
S65004	鉄筋調査		箇所		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 鉄筋調査	計上する		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	曾於東部地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:曾於東部地区施設機能診断調査業務 (現地調査作業)

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** T単一 1号 ***					
T00001	現地踏査		km		10,000	歩A 当たり算出
S63007	パイプライン 現地踏査 (パイプライン)	1.000	式	360,500	360,500	S単 1号
Y00004	雑品	0.022		360,500	7,931	
	合 計				368,431	算出数量 10,000 km
	単 価		km		36,843	
	*** T単一 2号 ***					
T00002	概略診断評価【バルブ類】		箇所		1,000	歩A 当たり算出
S63007	パイプライン 概略診断評価【バルブ類】	1.000	式	40,800	40,800	S単 2号
Y00004	雑品	0.230		40,800	9,384	
	合 計				50,184	算出数量 1,000 箇所
	単 価		箇所		50,184	
	*** T単一 3号 ***					
T00003	現地踏査 (付帯構造物含む)		箇所		1,000	歩A 当たり算出
S63007	石之脇調整池 現地踏査 (付帯構造物含む)	1.000	式	63,250	63,250	S単 3号
Y00004	雑品	0.019		63,250	1,202	
	合 計				64,452	算出数量 1,000 箇所
	単 価		箇所		64,452	
	*** T単一 4号 ***					
T00004	概略診断評価【バルブ類】		箇所		1,000	歩A 当たり算出
S63007	石之脇調整池 概略診断評価【バルブ類】	1.000	式	40,800	40,800	S単 2号
Y00004	雑品	0.230		40,800	9,384	
	合 計				50,184	算出数量 1,000 箇所
	単 価		箇所		50,184	
	*** T単 5号 ***					
T00005	現地踏査		箇所		1,000	歩A 当たり算出
S63007	石之脇ファームpond 現地踏査	1.000	式	63,250	63,250	S単 4号
Y00004	雑品	0.019		63,250	1,202	
	合 計				64,452	算出数量 1,000 箇所
	単 価		箇所		64,452	
	*** T単一 6号 ***					
T00006	現地踏査		箇所		1,000	歩A 当たり算出
	早馬ファームpond					

[illegible]

令和 7 年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
曾於東部地区施設機能診断調査業務

特 別 仕 様 書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

第1－1条（適用範囲）

令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 曾於東部地区施設機能診断調査業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この見積要領によるものとする。

第1－2条（目的）

本業務は、国営土地改良事業「曾於東部地区」で造成された施設の機能診断調査を行うと共に、施設の機能を保全するために必要な対策方法等を定めた機能保全計画の策定を行うものである。

第1－3条（場所）

本業務において対象とする施設の場所は、鹿児島県曾於市及び志布志市地内で、別添位置図に示すとおりである。

第1－4条（土地への立入り等）

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1－16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

第1－5条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注にあたり、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- （1）審査項目a）～c）において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- （2）審査項目d）において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- （3）その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- （4）業務成果品のミス、不備等

第1－6条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- （1）作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

第1－7条（管理技術者）

- （1）管理技術者は、共通仕様書第1－6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博 士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(2) 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

第1－8条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1－8条によるものとする。

第1－9条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1－11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1－12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職および担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第1－10条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2－1条（適用する図書）

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き (参考資料編含む)	農林水産省農村振興局	令和5年4月
2	農業水利施設の機能保全の手引き 「パイプライン」		平成28年8月
3	農業水利施設の機能保全の手引き 「開水路」		平成28年8月
4	農業水利施設の長寿命化のための手引き		平成27年11月

第2－2条（作業条件）

本業務の実施に当たっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施に当たっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地踏査に伴い施設内に立入る場合、監督職員と打合せを行い施設管理者と調整を実施するものとする。
- (4) 管水路（パイプライン）は充水状態を想定している。現地調査を行う上で支障となる事態が発生した場合は監督職員と協議するものとする。
- (5) 現地調査の結果、仮設等が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。

(6) 作業上、支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

第2-3条 (対象施設)

本業務の対象となる施設等詳細は別紙-1【業務対象施設一覧表】による。

第2-4条 (参考図書)

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名称	発行所	制定(発行)年月
1	コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針 -2022-	(公社) 日本コンクリート工学会	令和4年6月
2	コンクリート診断技術 '25		令和7年3月
3	コンクリート標準示方書(設計編)	(公社) 土木学会	令和5年3月
4	コンクリート標準示方書(施工編)		令和5年9月
5	コンクリート標準示方書(維持管理編)		令和5年3月
6	農業水利施設のコンクリート構造物調査・評価・対策工法選定マニュアル	(一社) 農業土木事業協会	平成19年3月
7	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【パイプライン編】(案)	農林水産省農村振興局	平成29年4月
8	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路編】		令和5年3月
9	農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料(計画編・調査編)(案)		平成30年3月

第2-5条 (貸与資料)

貸与資料は、次のとおりである。

分類	貸与資料	数量
現況関係資料	土地改良施設整理台帳付属図面	1式
	曾於東部地区事業誌、事業成績書等	1式
機能診断	平成27年度 広域基盤整備計画調査 大隅地域広域基盤整備計画検討業務 報告書	1式
	平成30年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 曾於東部地区施設機能診断調査業務 報告書	1式
	令和3年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 曾於東部地区施設機能診断調査業務 報告書	1式

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

第2-6条 (参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-4条、第2-5条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。

- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 設計作業内容

第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙-2【機能診断作業項目内訳表】、別紙-3【現地調査作業項目内訳表】及び別紙-4【現地調査作業一覧表】に示すものとする。

作業項目表

作 業 項 目	数 量	備 考
機能診断作業	1 式	
現地調査作業	1 式	

第3-2条（現地作業内容）

現地調査の詳細は次のとおりである。なお、詳細数量については、別紙-4【現地調査作業一覧】による。また、作業は施設管理者と調整の上で行う。

(1) 現地踏査

事前調査で得られた情報を参考に、遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定制を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査（定点調査）を行う調査地点、調査項目等を選定、検討する。

(2) 現地調査（定点調査）

現地調査（定点調査）計画に基づき、近接目視と定量計測を行う。

- (3) これらの調査結果は、農業水利ストック情報データベースの登録情報データ外部入出力機能（施設機械の一次診断結果に当たっては一次診断情報入力用 Excel ファイル）を利用して記録するものとし、記録した電子データは成果物に含むものとする。

第3-3条（作業の留意点）

業務の実施に当たって、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 中性化深さ調査（ドリル法）を行う際は構造物への影響が最小限となるよう配慮するとともに、監督職員と詳細な位置について打合せのうえ決定するものとする。

なお、削孔後は既存施設の機能を損なわないよう無収縮モルタル等により復旧を行うものとする。

- (2) 現地調査において、著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
- (3) 現地踏査等施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受けて実施するものとする。
- (4) 定点調査（近接目視、コンクリート強度推定調査、鉄筋探査及び中性化深さ調査）の調査箇所は、現地踏査等の結果を踏まえ、監督職員と協議して決定することとする。
- (5) 機能保全対策の検討に当たっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (6) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (7) 第2-4条、第2-5条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

- (8) 機能保全対策シナリオの検討に当たっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定に当たっては、農業農村整備民間技術情報データベース (NNTD)、農業水利施設保全補修ガイドブック 2024 ((一社) 農業土木事業協会発行) 及び新技術情報システム (NETIS) 等を積極的に活用しなければならない。
- ・農業農村整備民間技術情報データベース (NNTD) については、
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
 - ・農業水利施設保全補修ガイドブック 2024 については、
<https://www.jagree.or.jp/publication/books/no9/> を参照。
 - ・新技術情報システム (NETIS) については、
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。
- (9) 対象施設、関連施設及び設備が機能診断を完了している場合は、同成果の内容を確認するとともに十分に活用し効率的な作業を行う。
- (10) 対策内容の検討に当たっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。
- (11) 数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。
- ・「工事工種の体系化」は、https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。
- (12) 農業水利ストック情報データの作成は、機能診断情報記入用 Excel ファイルによる入力のほか、登録情報データ外部入出力機能等を適宜使用することを基本とするが、作業方法、内容等について監督職員と十分協議し作業を行うものとする。なお、作成した電子データは成果物に含むものとする。

第3-4条 (業務写真における黒板情報の電子化)

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という。)は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。

なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL(https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した

写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

第4－1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打ち合わせには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（現地調査（定点調査）計画作成前の段階）

第3回 中間打合せ（健全度評価の段階）

第4回 中間打合せ（機能保全計画策定の段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

第5－1条（成果物）

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

(1) 成果物の電子媒体（CD-R 若しくは DVD-R）正副2部

(2) 成果物の出力1部（黒表紙※、金文字入り）※JIS Z8102:2001に規定する色No.269

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については、別途監督職員の指示によるものとする。

第5－2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町 4778－1

九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

第6－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

(1) 第2－2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合

(2) 第2－3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合

(3) 第3－1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合

(4) 第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合

(5) 第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合

(6) 履行期間に変更が生じた場合

- (7) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合
- (8) その他

第7章 定めなき事項

第7－1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【機能診断作業項目内訳表】土木構造物（パイプライン）（1／2）

作業項目	作業内容	備考
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	
2. 事前調査		
2-1 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。	
2-2 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	
4. 施設の影響度評価	事前調査、現地踏査結果を基に、施設の影響度を評価する。	
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地踏査結果を基に、主な性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。	
6. 現地調査（定点調査）計画の作成	事前調査、現地踏査及び施設の影響度等を勘案し、現地調査（定点調査）の範囲・調査地点の密度及び調査手法を設定する。	
7. 概略診断評価 【バルブ類】	概略診断調査の結果により、部位毎及び設備全体の健全度評価を行い、詳細診断調査の必要性を判断する。	
8. 健全度評価 8-1 パイプライン	調査結果に基づき、調査単位毎にパイプライン施設の健全度の判定を行う。	
9. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	
10. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の影響度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	
11. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定された対策工法・実施時期・実施範囲を組み合わせ対策シナリオを複数作成する。	
12. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。（コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。）	
13. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設影響度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。	
14. 農業水利ストック情報データベースの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	
15. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	

【機能診断作業項目内訳表】 土木構造物（調整池・ファームポンド）（2／2）

作業項目	作業内容	備考
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	
2. 事前調査		
2-1 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。	
2-2 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	
4. 施設の影響度評価	事前調査、現地踏査結果を基に、施設の影響度を評価する。	
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地踏査結果を基に、主な性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。	
6. 現地調査（定点調査）計画の作成	事前調査、現地踏査及び施設の影響度等を勘案し、現地調査（定点調査）の範囲・調査地点の密度及び調査手法を設定する。	
7. 概略診断評価 【バルブ類】	概略診断調査の結果により、部位毎及び設備全体の健全度評価を行い、詳細診断調査の必要性を判断する。	
8. 健全度評価		
8-1 調整池	調査結果に基づき、調査単位毎に調整池施設の健全度の判定を行う。	
8-2 ファームポンド	調査結果に基づき、調査単位毎にファームポンド施設の健全度の判定を行う。	
9. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	
10. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の影響度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	
11. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定された対策工法・実施時期・実施範囲を組み合わせ対策シナリオを複数作成する。	
12. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。（コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。）	
13. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設影響度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。	
14. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	
15. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	

【現地調査作業項目内訳表】土木構造物（パイプライン）

(1/2)

作業項目	作業内容	備考
1. 現地踏査	事前調査で得られた情報を参考に、遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定制を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査（定点調査）を行う調査地点、調査項目等を選定、検討する。	
2. 概略診断調査 【バルブ類】	事前調査、現地踏査により得られた情報を基に、目視、触覚、聴覚等の五感による判断等から設備の状態、機能を確認する。（バルブ類）	
3. 定点調査		
3-1 近接目視（定点） 【弁室】	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。	
3-2 コンクリート強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。	
3-3 鉄筋探査	コンクリート供試体採取位置又ははつり調査位置の特定のため、鉄筋探査器により鉄筋位置・かぶりの探査を行う。	
3-4 中性化深さ調査 （ドリル法）	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS 3419）	

【現地調査作業項目内訳表】 土木構造物（調整池）

(2/2)

作業項目	作業内容	備考
(土木構造物)		
1. 現地踏査 (付帯構造物含む)	事前調査で得られた情報を参考に、遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定制及び劣化箇所の位置や劣化の内容、程度など必要な事項について概略を把握し、踏査結果を整理する。(水管橋含む)	
2. 定点調査		
2-1 近接目視（定点） 【弁室】	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。	
2-2 コンクリート強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。	
2-3 鉄筋探査	コンクリート供試体採取位置又ははつり調査位置の特定制のため、鉄筋探査器により鉄筋位置・かぶりの探査を行う。	
2-4 中性化深さ調査 (ドリル法)	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。(NDIS 3419)	
(付帯構造物)		
1. 概略診断調査 【バルブ類】	事前調査、現地踏査により得られた情報を基に、目視、触覚、聴覚等の五感による判断等から設備の状態、機能を確認する。(バルブ類)	
2. 定点調査		
2-1 近接目視（定点） 【弁室】	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。	
2-2 コンクリート強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。	
2-3 鉄筋探査	コンクリート供試体採取位置又ははつり調査位置の特定制のため、鉄筋探査器により鉄筋位置・かぶりの探査を行う。	
2-4 中性化深さ調査 (ドリル法)	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。(NDIS 3419)	

【現地調査作業項目内訳表】 土木構造物（ファームポンド）

作業項目	作業内容	備考
1. 現地踏査	事前調査で得られた情報を参考に、遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定制及び劣化箇所の位置や劣化の内容、程度など必要な事項について概略を把握し、踏査結果を整理する。	
2. 定点調査		
2-1 近接目視（点的）	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。	
2-2 コンクリート強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。	
2-3 鉄筋探査	コンクリート供試体採取位置又ははつり調査位置の特定制のため、鉄筋探査器により鉄筋位置・かぶりの探査を行う。	
2-4 中性化深さ調査 (ドリル法)	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。(NDIS 3419)	

【現地調査作業一覧表】

(1/2)

作業項目	規格	単位	数量	備考
1. パイプライン				
(1) 大沢津支線水路	Q 0.30m ³ /s、DCIP管：φ350～φ600			土木構造物
(土木構造物)				
1) 現地踏査		km	5.769	
2) 概略診断調査	バルブ類	箇所	32	・制水弁工:3箇所 (RC造2箇所、組立マンホールタイプ [*] 1箇所) ・空気弁工:21箇所 (組立マンホールタイプ [*] 19箇所、2箇所は他の施設と併用) ・排泥弁工:4箇所(組立マンホールタイプ [*] 、ヒューム管タイプ) ・分土工:4箇所 (RC造1箇所、組立マンホールタイプ [*] 3箇所)
3) 定点調査	コンクリート構造物			
近視目視(点的)	弁室	m ²	129	3箇所
コンクリート強度推定調査	JISA115(リバウンドハンマー) 1箇所当たり打撃点3*3=9点(5cm間隔)	箇所	6	1・2号制水弁室、10号分土工のRC造：3箇所 3箇所×内面壁(2面)=6 RC造の空気弁と制水弁は一体構造
鉄筋探査		箇所	6	
中性化深さ調査	NDIS3419-1999 フェノールフタレイン溶液 1箇所当たり3孔	箇所	6	
2. 調整池				
(1) 石之脇調整池	RC擁壁V=1,587m ³ 有効水深H=3.0m			土木構造物
(土木構造物)				
1) 現地踏査		箇所	1	外壁側
2) 定点調査	コンクリート構造物			
近視目視(点的)		m ²	314	
コンクリート強度推定調査	JISA115(リバウンドハンマー) 1箇所当たり打撃点3*3=9点(5cm間隔)	箇所	4	
鉄筋探査		箇所	4	
中性化深さ調査	NDIS3419-1999 フェノールフタレイン溶液 1箇所当たり3孔	箇所	4	
(付帯構造物)				
1) 概略診断調査	バルブ類	箇所	8	・放流弁室：1箇所 (RC造1箇所) 放流弁：2箇所 バック弁：4箇所 ・排泥工：1箇所 (RC槽1箇所) 仕切弁：2箇所
2) 定点調査	コンクリート構造物			
近視目視(点的)	弁室	m ²	276	
コンクリート強度推定調査	JISA115(リバウンドハンマー) 1箇所当たり打撃点3*3=9点(5cm間隔)	箇所	4	
鉄筋探査		箇所	4	
中性化深さ調査	NDIS3419-1999 フェノールフタレイン溶液 1箇所当たり3孔	箇所	4	
3. ファームpond				
(1) 石之脇ファームpond	PC擁壁V=3,200m ³ 有効水深H=6.50m			
(土木構造物)				
1) 現地踏査		箇所	1	外壁側
2) 定点調査	コンクリート構造物			
近視目視(点的)		m ²	203	
コンクリート強度推定調査	JISA115(リバウンドハンマー) 1箇所当たり打撃点3*3=9点(5cm間隔)	箇所	4	
鉄筋探査		箇所	4	
中性化深さ調査	NDIS3419-1999 フェノールフタレイン溶液 1箇所当たり3孔	箇所	4	

【現地調査作業一覧表】

(2 / 2)

作業項目	規格	単位	数量	備考
(2) 早馬ファームポンド	PC擁壁V=24, 200m ³ 有効水深H=12.7m			
(土木構造物)				
1) 現地踏査		式	1	外壁側
2) 定点調査	コンクリート構造物			
近視目視(点的)		m ²	2,177	
コンクリート強度推定調査	JISA115(リバウンドハンマー) 1箇所当たり打撃点3*3=9点(5cm間隔)	箇所	4	
鉄筋探査		箇所	4	
中性化深さ調査	NDIS3419-1999 フェノールフタレイン溶液 1箇所当たり3孔	箇所	4	

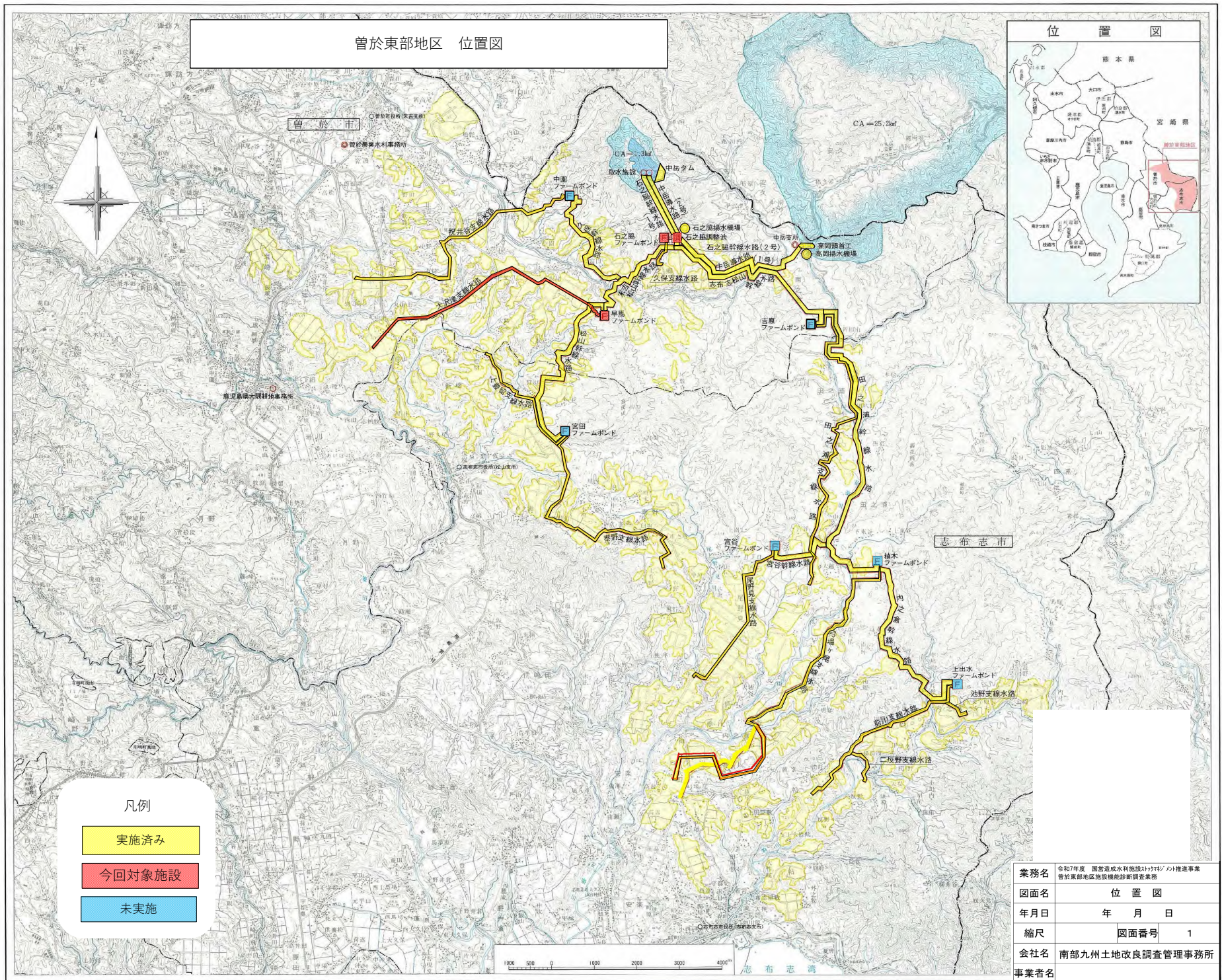
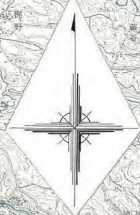
令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
曾於東部地区施設機能診断調査業務

図面目録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備考
	位置図	1	
	大沢津支線水路	4	
	石之脇調整池	11	
	石之脇ファームpond	3	
	早馬ファームpond	4	
計		23	

曾於東部地区 位置図

位置図



凡例

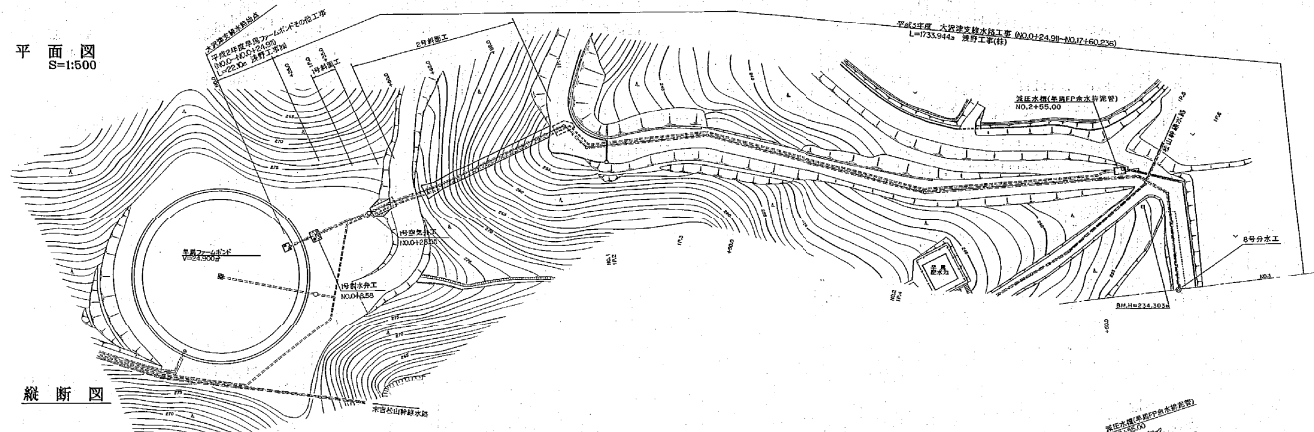
実施済み

今回対象施設

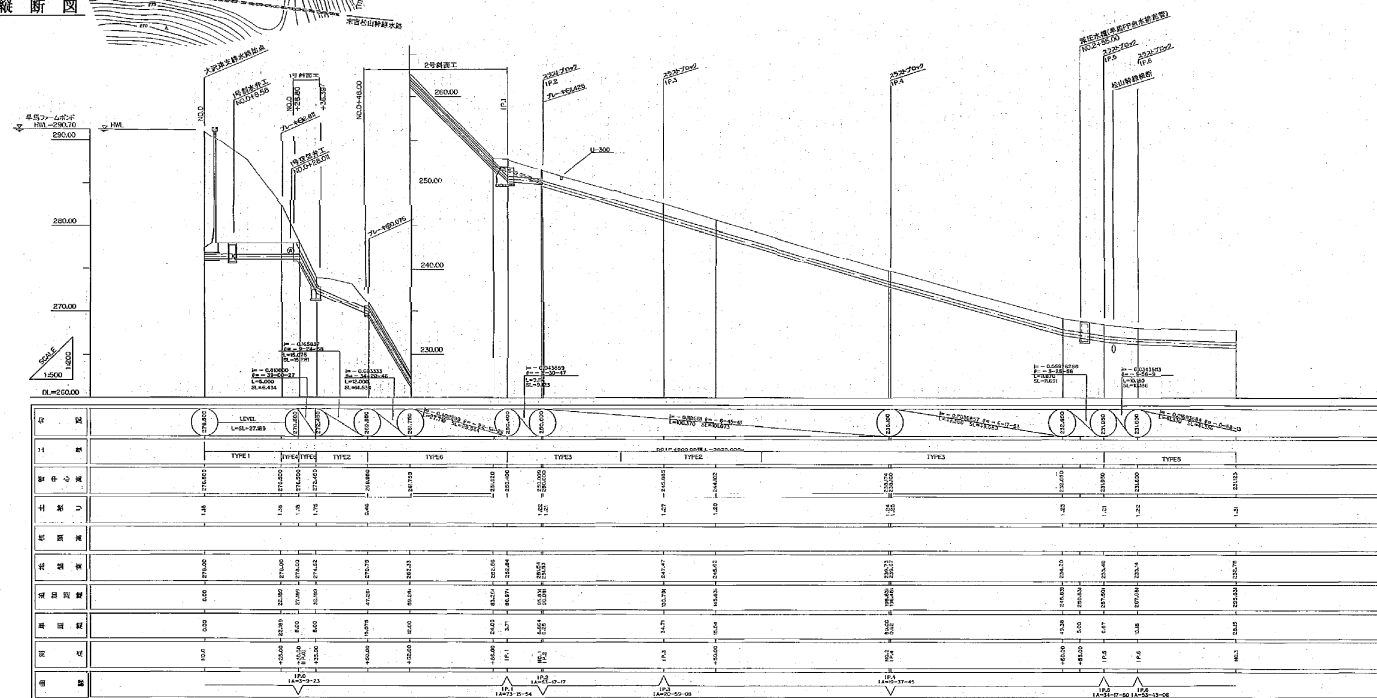
未実施

業務名	令和7年度 国営造成水利施設1774/1774推進事業 曾於東部地区施設機能診断調査業務		
図面名	位 置 図		
年月日	年 月 日		
縮尺	図面番号	1	
会社名	南部九州土地改良調査管理事務所		
事業者名			

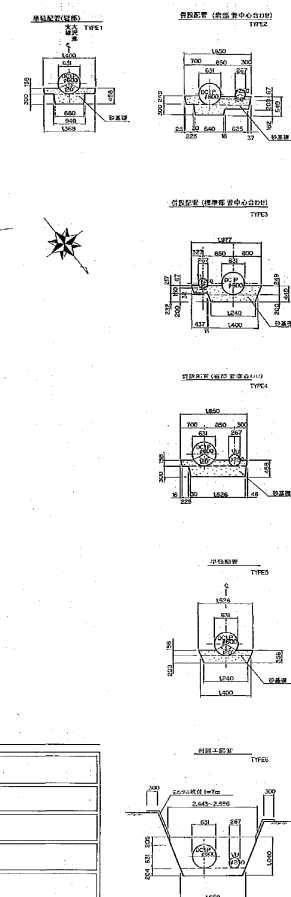
大沢津支線水路



縱断図



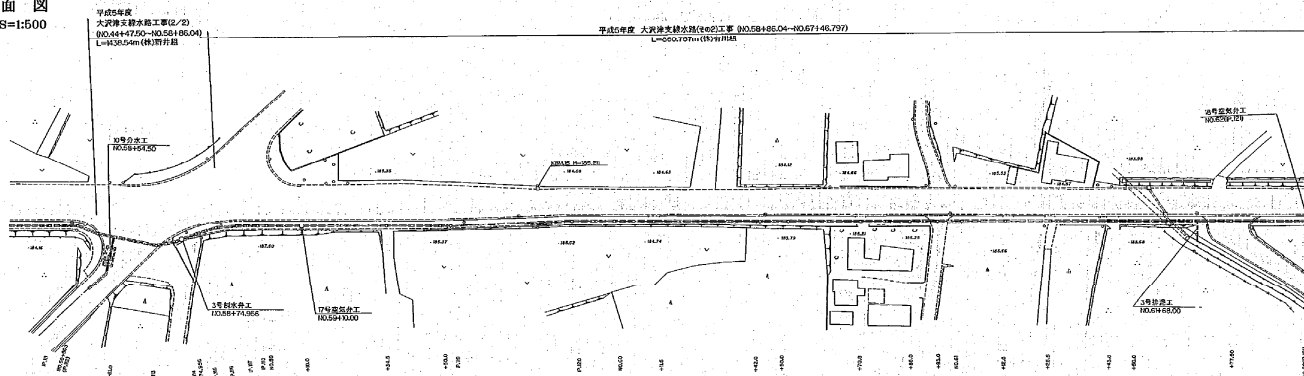
標準断面図



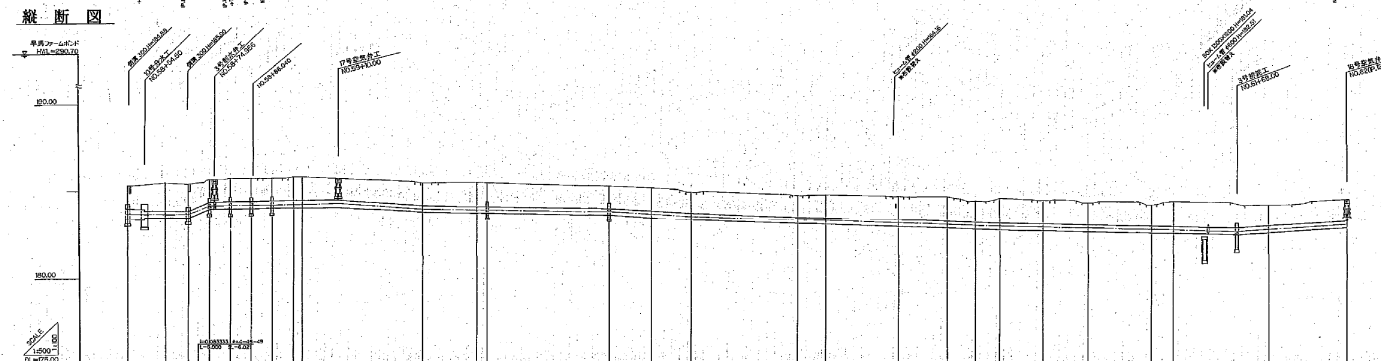
土泥油支線水陸拖船等碼頭

図画の名 称 平面図例図(1/20) 縮 尺 1:500		図面番 5
製 品 設 計 製 図 製 図	平成 年 月 日	

平面図
S=1:500



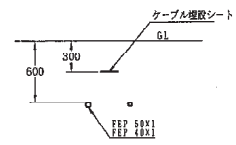
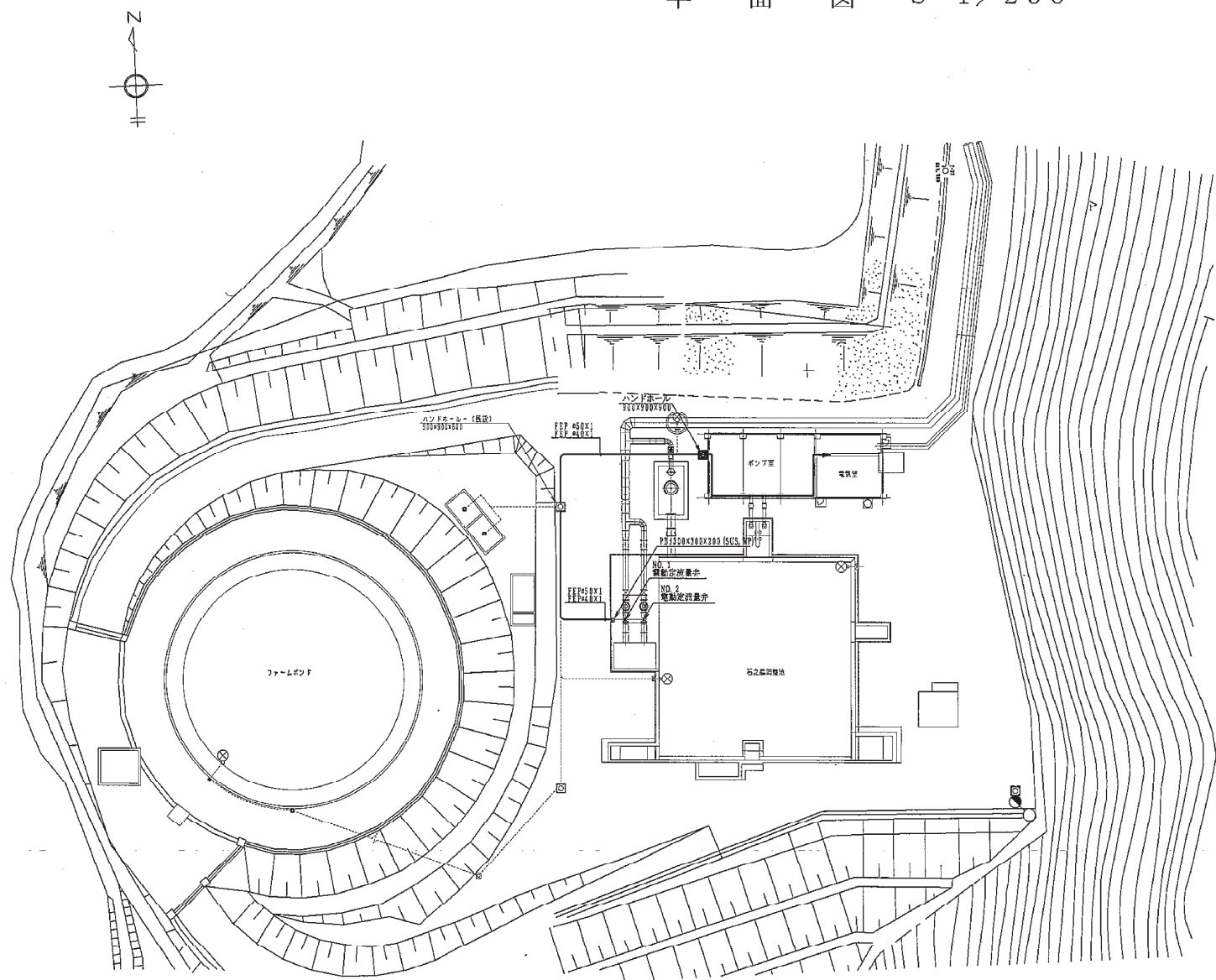
縦断面図



区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

池調整脇之石

平面図 S=1/250

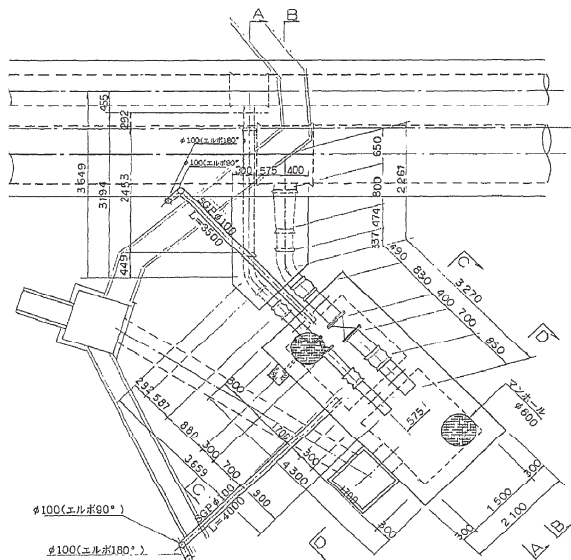


石之脇幹線水路1号施設管理図	
図面の名称	図面番号
平面図	10
縮尺 1/250	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
監理	
図写	

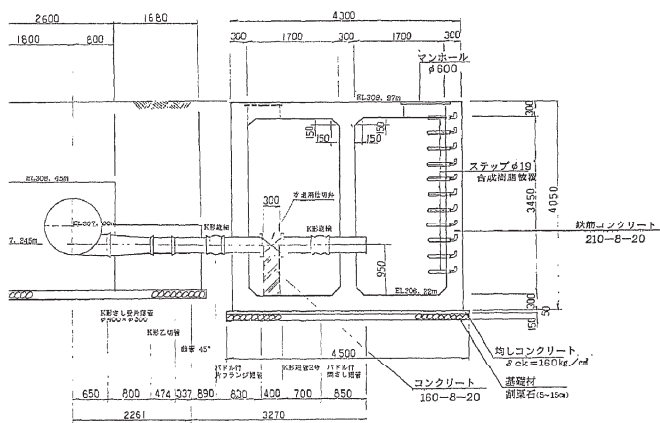
構造図

石之脇幹線水路1号施設管理図	
図 面 の 名 称	図面番号
構造図	1 1
測 量	平成 年 月 日終了
設 計	
概 算 図	
図 版 写	

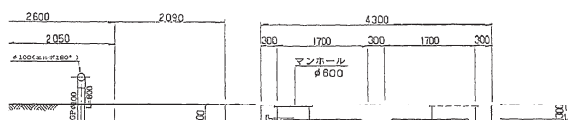
平面图



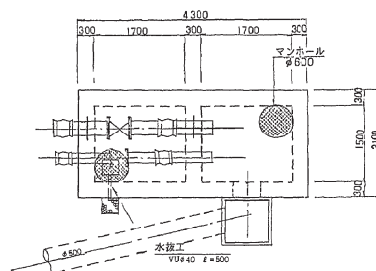
B—B断面图
S=1/50



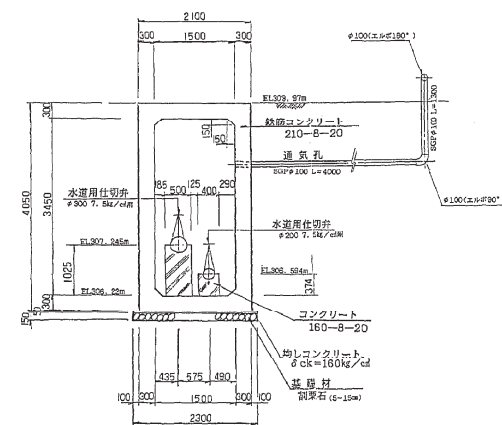
A—A断面图



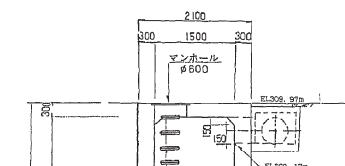
頂版平面図



C—C断面图

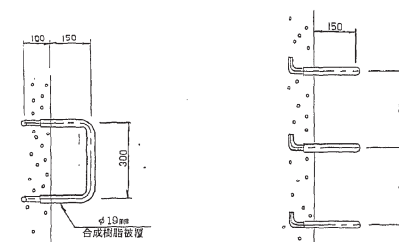


D—D断面图



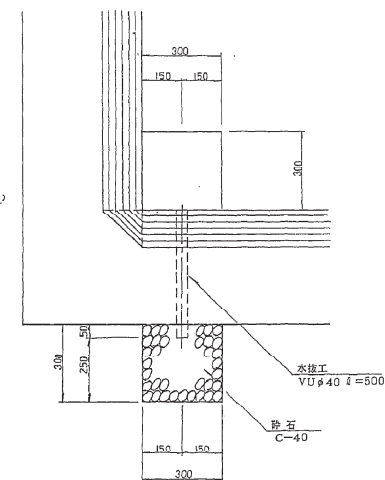
排泥工構造図

ステップ詳細図
S=1:25

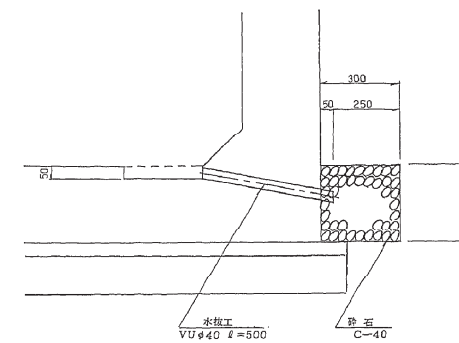


水抜工詳細図
S=1:10

平面図

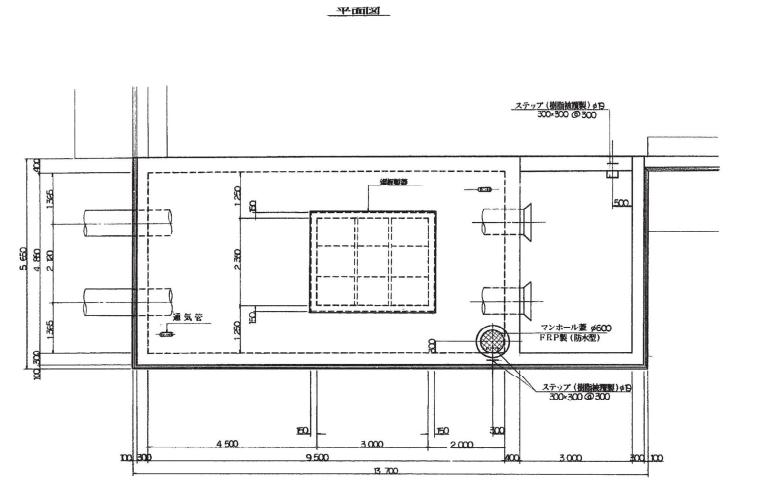


断面図

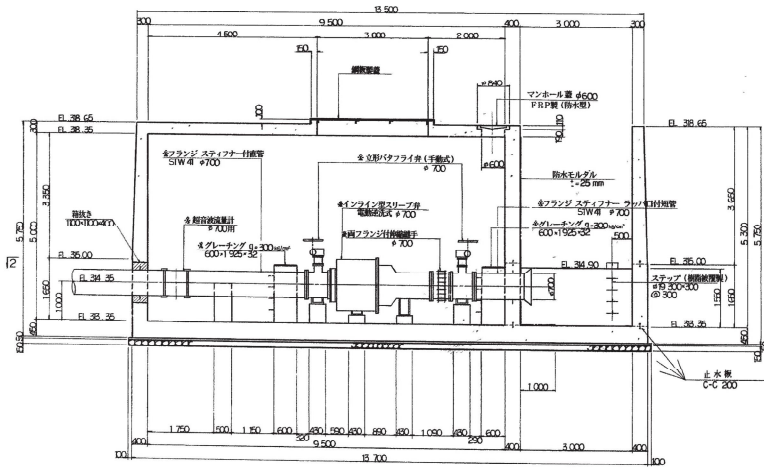


放流バルブ室構造図(その1)

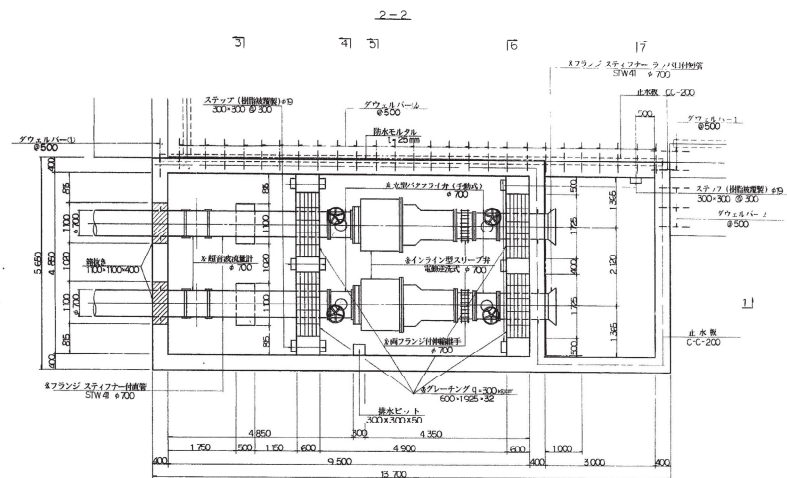
S-1/50



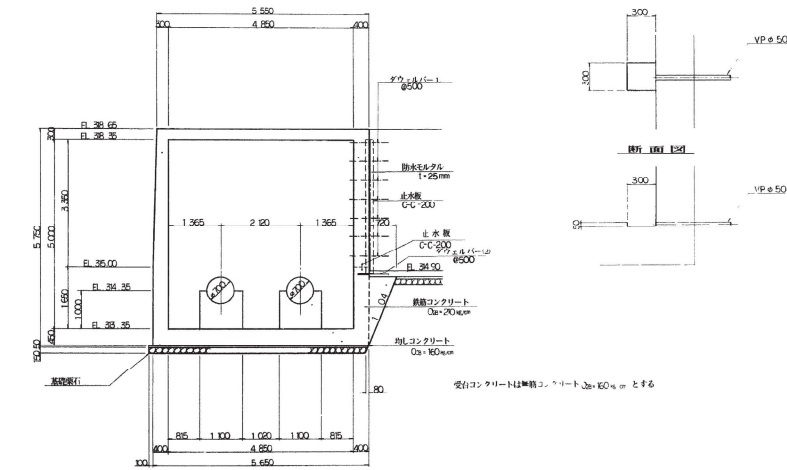
1-1



※付の管間隙及び受台コンクリートは、今年度工事計画外である。

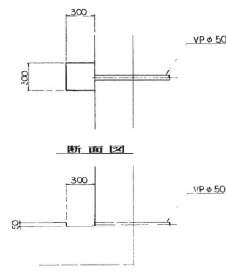


2-2



排水ビット詳細図

S-1/20

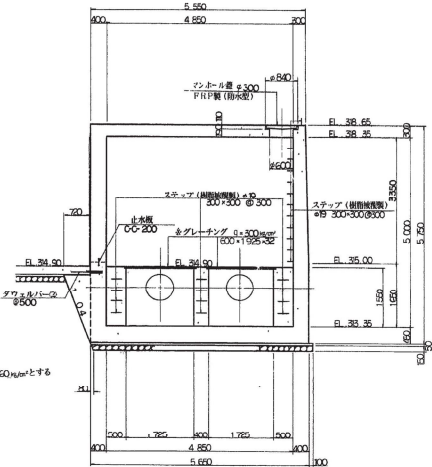
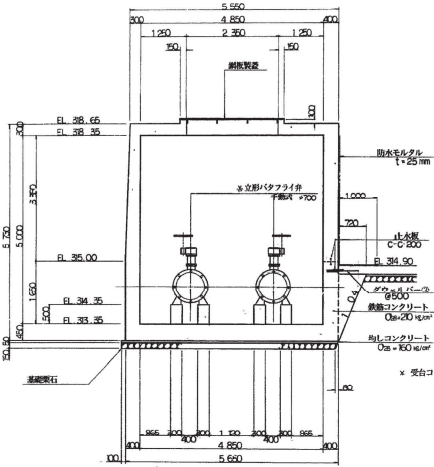


放流バルブ室構造図(その2)

S=1/50

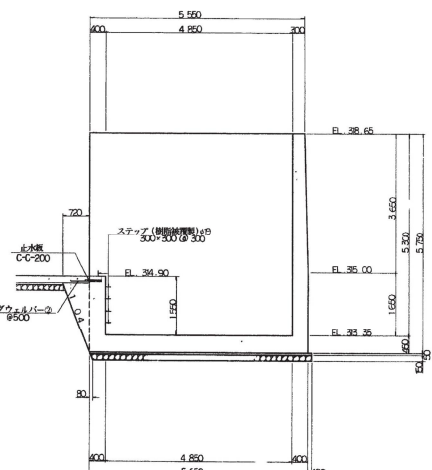
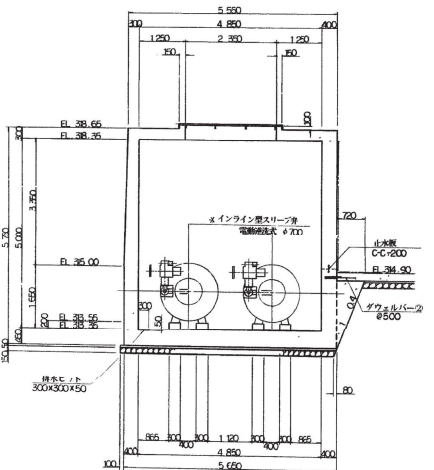
4-4

A-A

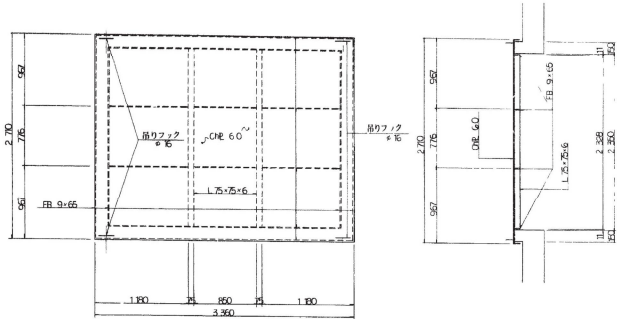


3-3

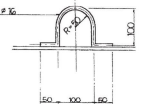
7-7



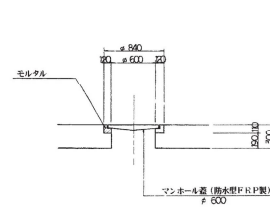
鋼板敷設部詳細図
(1/50スケール) S=1/25



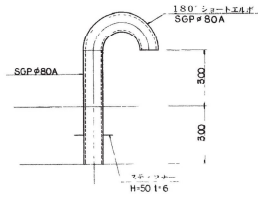
吊りフック詳細図
S=1/50



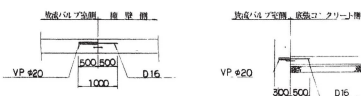
マンホール蓋部詳細図
S=1/25



3層管管端詳細図
(1/50スケール)

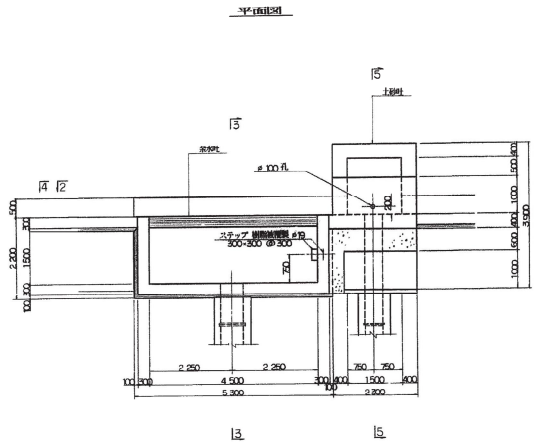


ダウエルバー詳細図

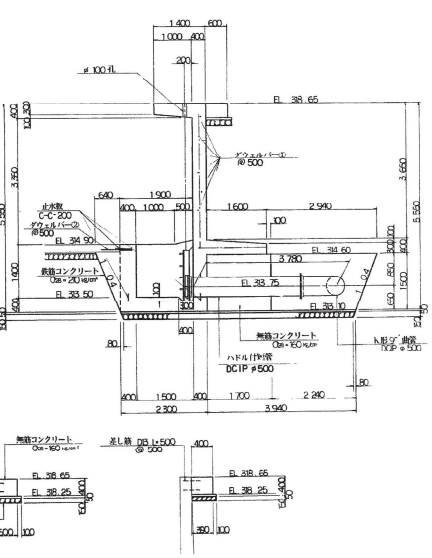
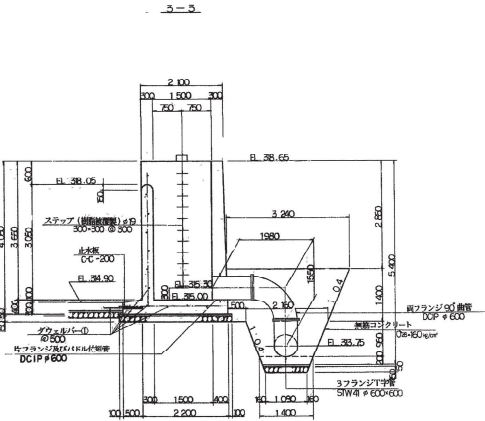
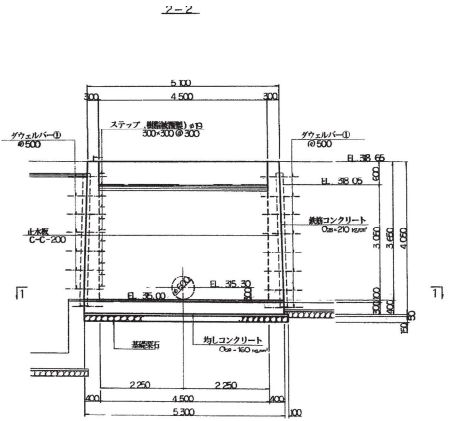
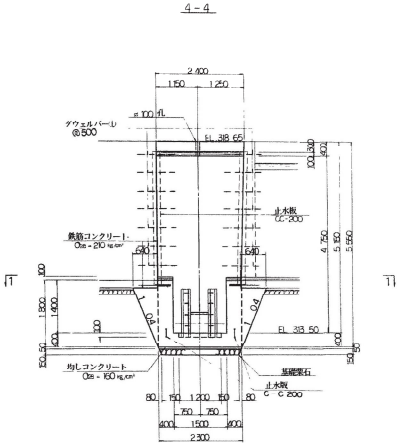
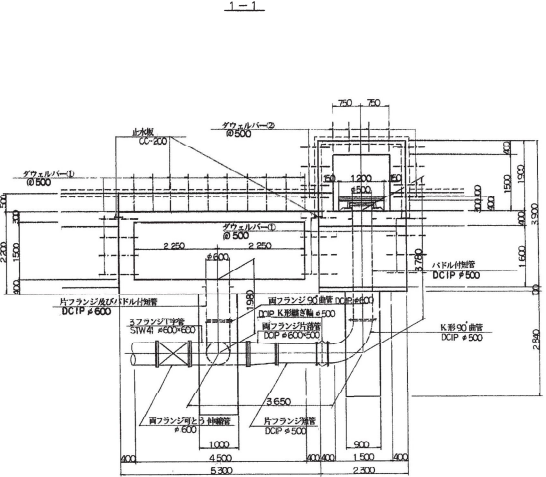


余水吐及び土砂吐構造図

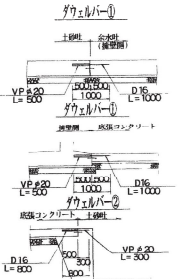
S=1/50



214



ダウエルバー詳細図



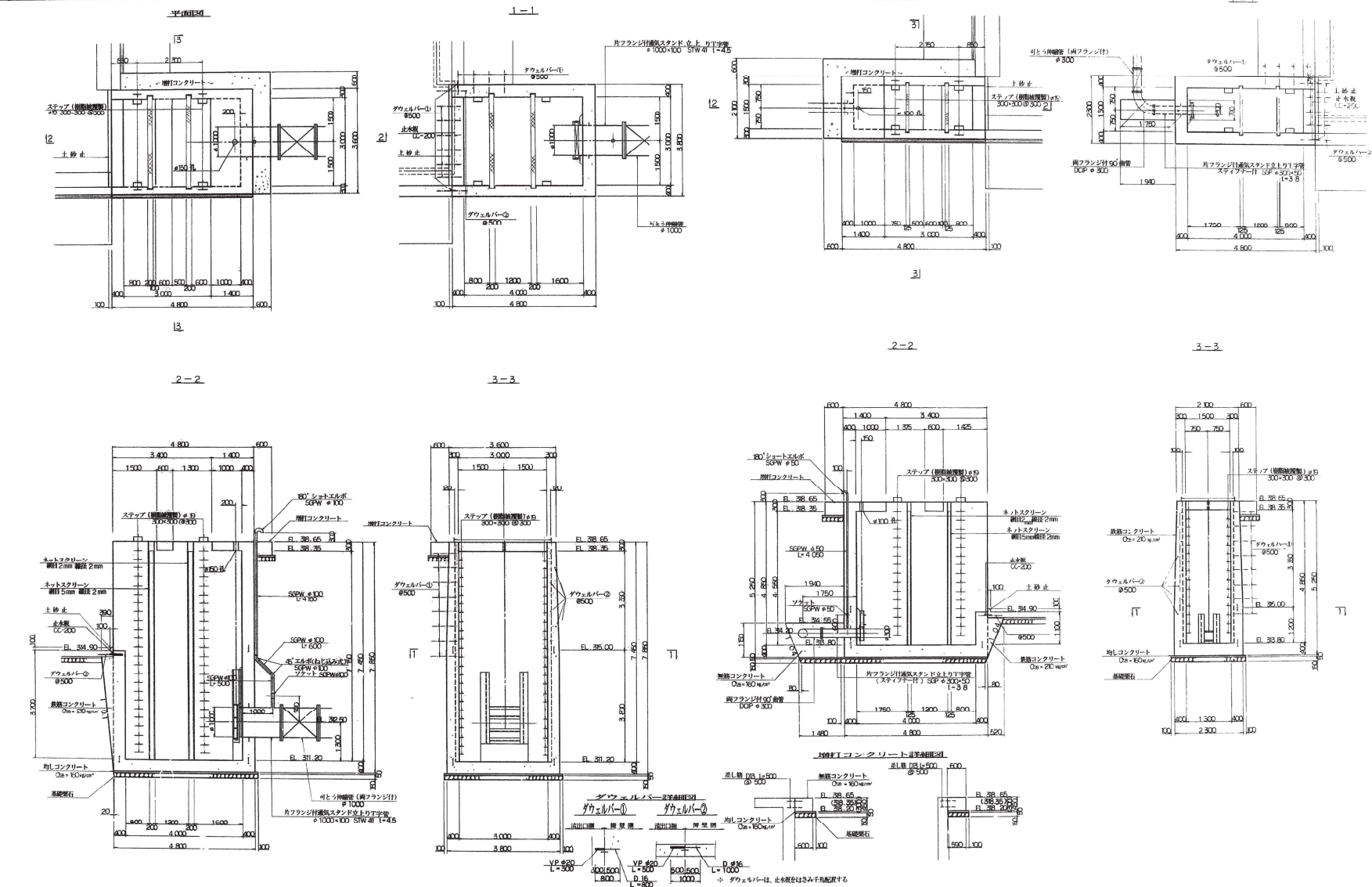
◇ ダウエルバーは、止水板を45°斜めに設置する

流出口構造図

s-1/60

流出口(石之脇幹線 #1000)

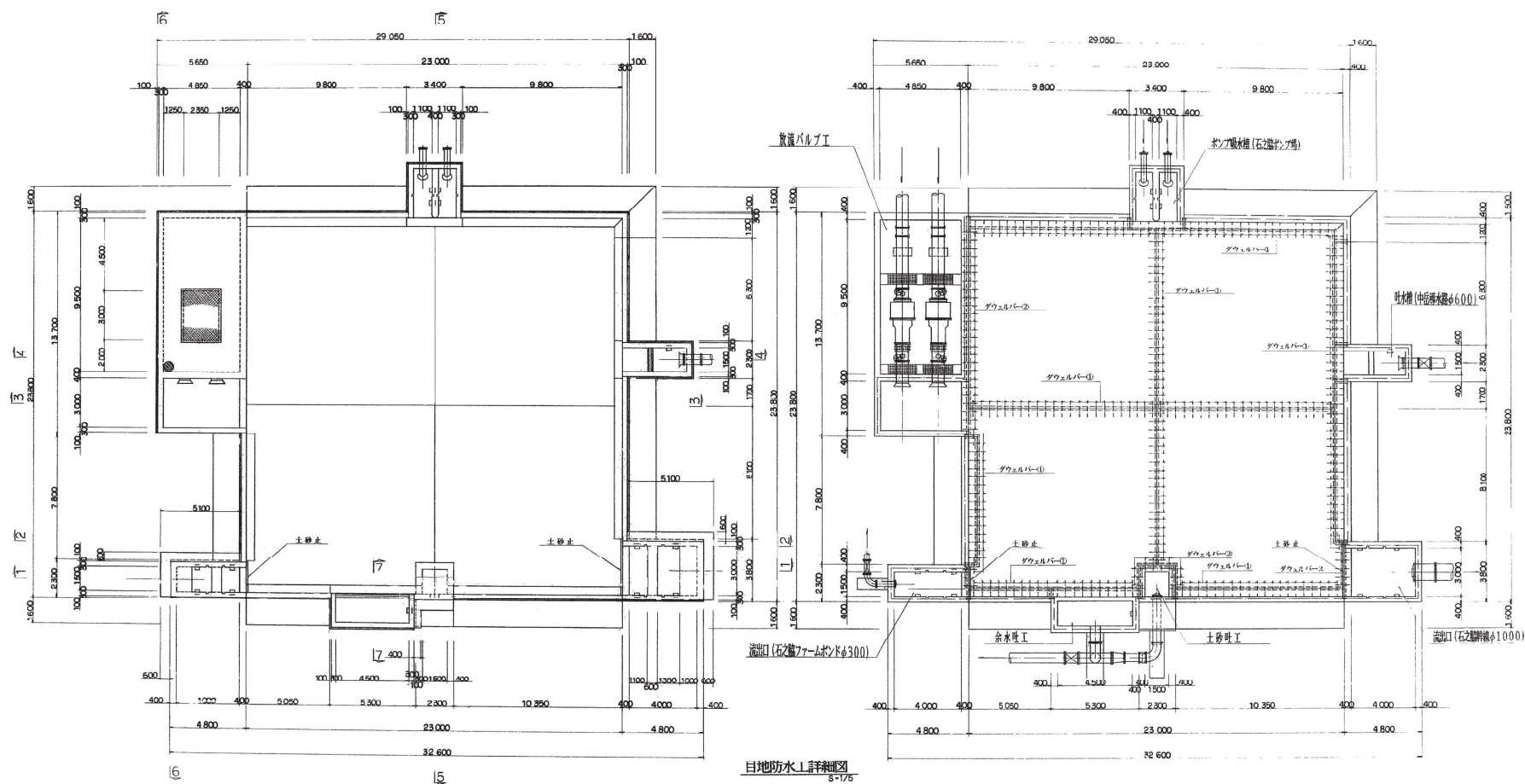
流出口(石之脇ファームボンド #300)



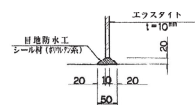
調整池

石之脇幹線水路1号施設管理図		
図 面 の 名 称		図面番号
調整池		17
測 量	平成 年 月 日終了	
設 計		
監 理 図		
図 復 写		

平面图 (断面)

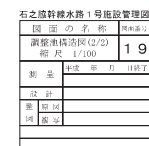


目地防水工詳細図



※ 防水目地は、20×30の雨水を使用し、上記の様に目地防水工を行う

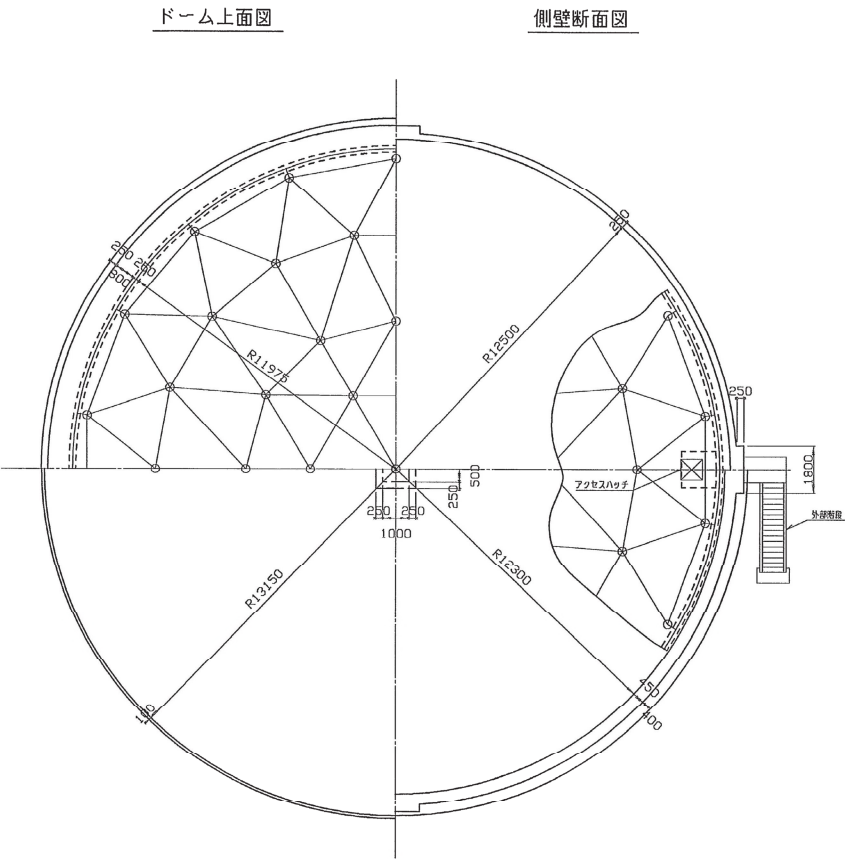
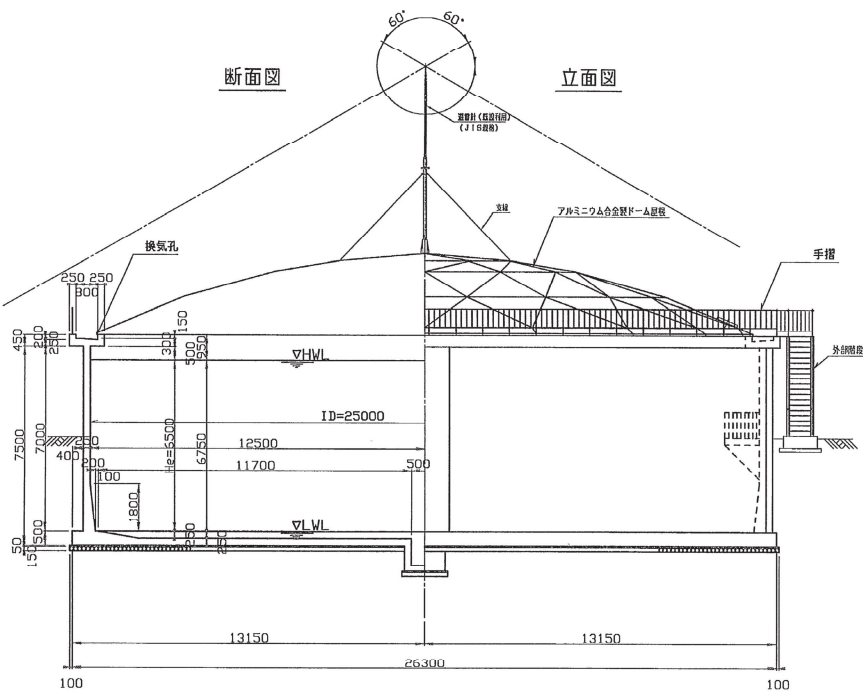
※、 $\phi 16$ は、止水板（C-C 2の①）を示す
 タウナルハ—① D16 L=1000 VP#20 L=500
 タウナルハ—② D16 L= 800 VP#20 L=300



石之脇フアームポンド

石之脇ファームポンド 一般構造図 (1/2)

S=1/100



底版下面図

底版上面図

石之脇幹線水路2号施設管理図	
図面の名称	図面番号
ファームポンド一般構造図(1/2)	10
縮尺	1/100
測量	平成 年 月 日終了
設計	
監図	
複写	

主罐 H=1000

水環及穴
170 30

观察窗
JIS規格品

检修口
JIS規格品

内部 2' x 2' SS41

外部 2' x 2' SS41

检修口
JIS規格品

检修口
JIS規格品

直径 $\phi = 23,950$

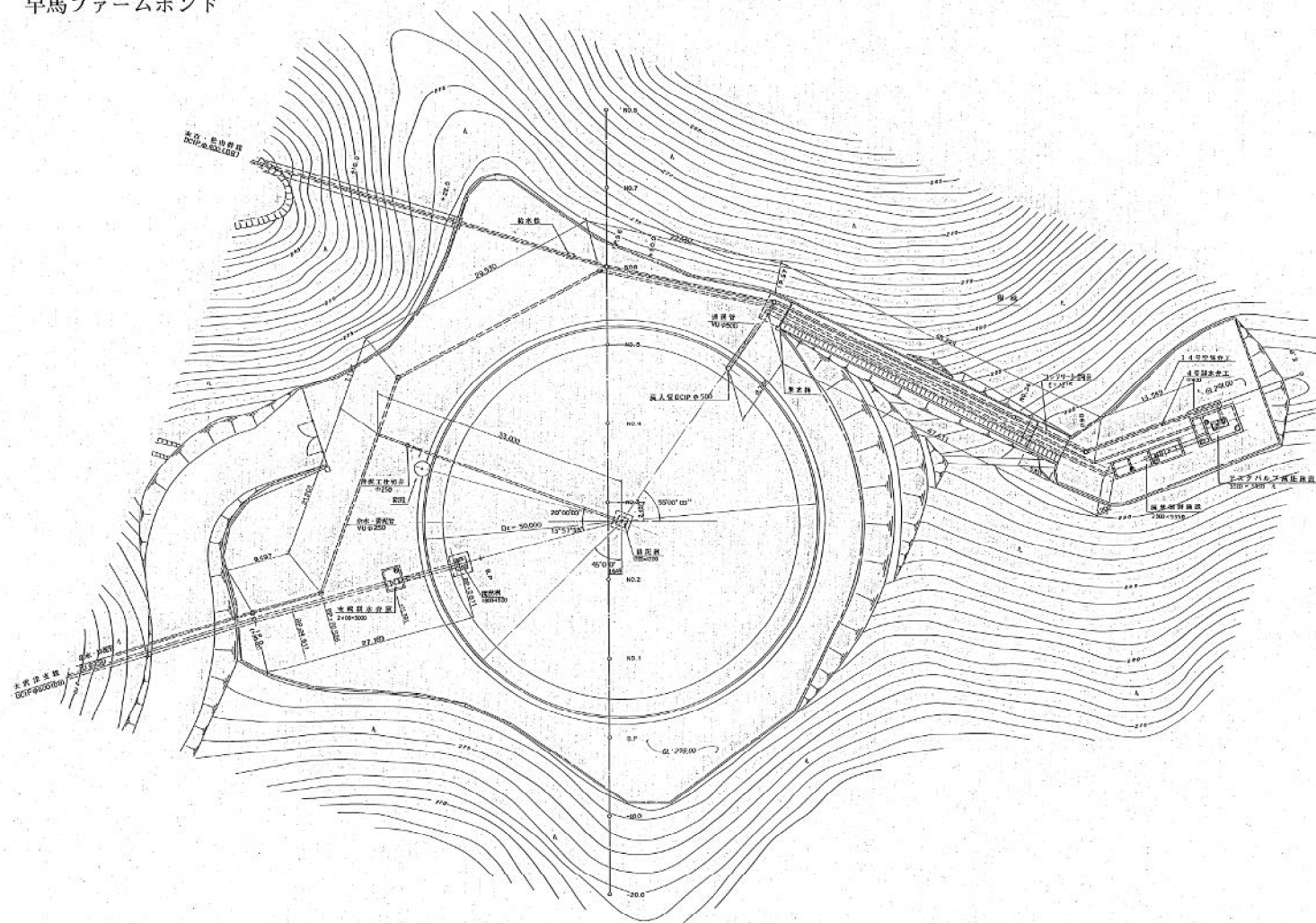
立面图

[illegible]

早馬ファームポンド

早馬ファームポンド

平面図 S=1:200



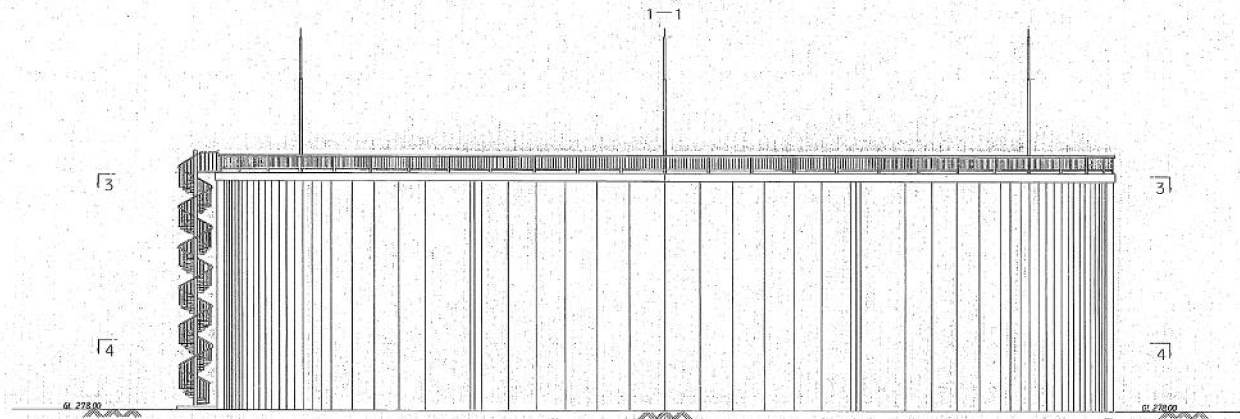
建設費
154,414.001 7,469.970

水吉山山神緑水施設管理図	
施設名	図面番号
早馬ファームポンド	'93
縮尺	S=1:200
製図者	年月日
検定者	
承認者	

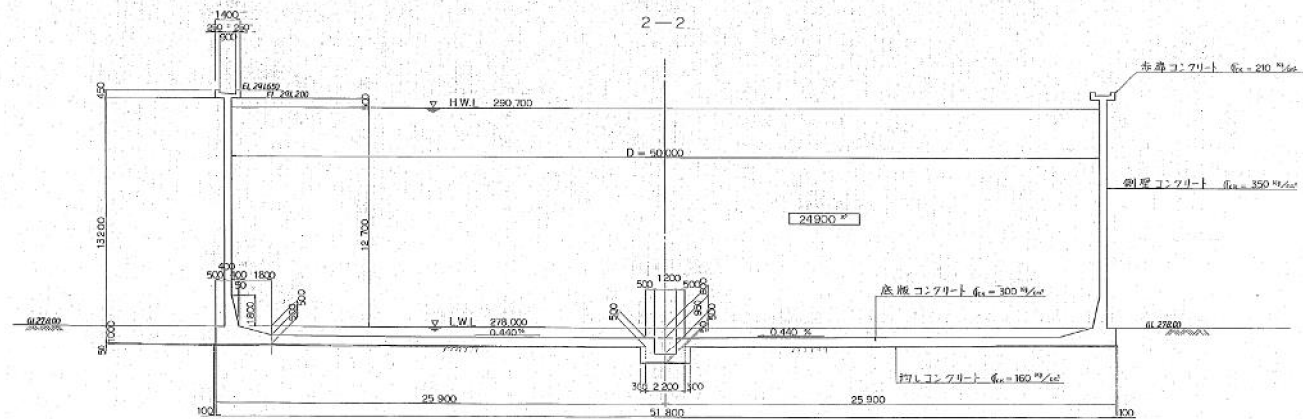
早馬ファームpond

構造一般図 (1/3) S=1:100

立面図



断面図

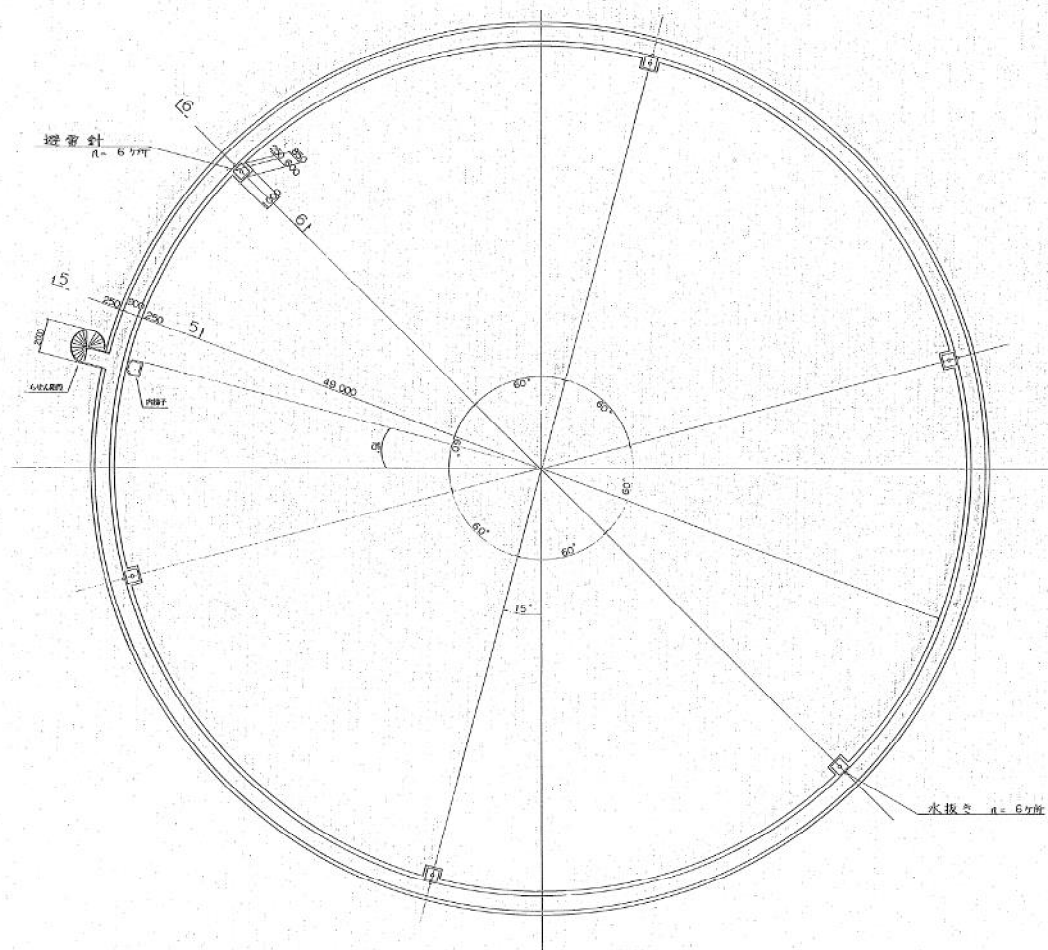


永青松山幹線水路施設改善事業	
図面名称	図面番号
構造一般図 (1/3)	36
図大1/100	
製 図 者	年 月 日
検 査 者	
施 工 者	

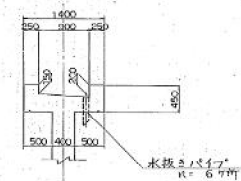
構造一般図 (2/3) S = 1 : 100

上部平面图

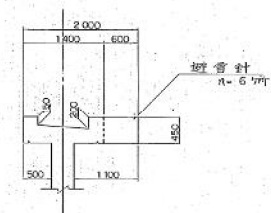
3-3



5-5



6-6



国 道 の 名 称		国道番号
国道一般道(2ノ3) 結 核 区		37
測 量	年 月 日終了	
設 計		
製 図		
校 対		